

平成28年度 授 業 時 間 割 3年前期

月	日	月						日	火						日	水						日	木						日	金																									
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6																				
		8:50 \$	10:30 \$	13:00 \$	14:40 \$	16:20 \$	18:00 \$		8:50 \$	10:30 \$	13:00 \$	14:40 \$	16:20 \$	18:00 \$		8:50 \$	10:30 \$	13:00 \$	14:40 \$	16:20 \$	18:00 \$		8:50 \$	10:30 \$	13:00 \$	14:40 \$	16:20 \$	18:00 \$		8:50 \$	10:30 \$	13:00 \$	14:40 \$	16:20 \$	18:00 \$																				
		10:20	12:00	14:30	16:10	17:50	19:30		10:20	12:00	14:30	16:10	17:50	19:30		10:20	12:00	14:30	16:10	17:50	19:30		10:20	12:00	14:30	16:10	17:50	19:30		10:20	12:00	14:30	16:10	17:50	19:30																				
3	28							29							30							31							1	医学 ゼミ	病理 各論系I	消化器系																							
4	4							5							病理各論系I							環境因子系							国際 語医 療英						6	呼吸器系	薬理系I	循環器系	7	薬理系I	医と社会Ⅲ	8													
	11							12																											13				14			15													
	18							19																											20				21			22													
	25							26																											27				28			29	昭和の日												
5	2	感染症系						3	憲法記念日						4	みどりの日						5	こどもの日						6	医学 ゼミ		消化器系																							
	9							10	病理各論系I	環境因子系	国際医 療英 語	11	呼吸器系	系薬 I理	器循 系環	12	薬理系I	消化器系	13																																				
	16							17	リサーチセミナー発表会	18		リサーチセミナー発表会	19	20																																									
	23							24		環境因子系		25	呼吸器系	消化器系	医と社会Ⅲ				26	27																																			
	30							31				1							2	3																																			
6	6							7	病理各論系I									8	9	呼吸器系					10	病理 各論系I	医と社会Ⅲ																												
	13							14										15	16						17																														
	20							21										22	23						24																														
	27							28										29	30	消化器系	薬理系I				1		消化器系																												
7	4	医と社会Ⅲ						5	呼吸器系	感染症系					6	呼吸器系TBL		感染症系TBL							7				消化器系						8																				
	11	循環器系	薬理系 I					12		病理各論系 I					13	医と社会Ⅲ		薬理系I							14										15																				
	18	海の日						19	循環器系TBL						薬理系 I					20	消化器系						21	消化器系 TBL	感染症系TBL				22	試験期間																					
	25	試験期間						26												27	試験期間						28						29																						
8	1							2	試験期間											3							4	試験期間					5																						
	8	夏季休業						9	夏季休業											10	夏季休業						11	山の日						12	夏季休業																				
	15							16												17							18	夏季休暇						19																					
	22							23												24							25							26																					
	29	試験期間						30	試験期間											31	試験期間						1	試験期間						2	試験期間																				

平成28年度 授 業 時 間 割 3年後期

月	日	月						日	火						日	水						日	木						日	金																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		8:50 \$	10:30 \$	13:00 \$	14:40 \$	16:20 \$	18:00 \$		8:50 \$	10:30 \$	13:00 \$	14:40 \$	16:20 \$	18:00 \$		8:50 \$	10:30 \$	13:00 \$	14:40 \$	16:20 \$	18:00 \$		8:50 \$	10:30 \$	13:00 \$	14:40 \$	16:20 \$	18:00 \$		8:50 \$	10:30 \$	13:00 \$	14:40 \$	16:20 \$	18:00 \$																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		10:20	12:00	14:30	16:10	17:50	19:30		10:20	12:00	14:30	16:10	17:50	19:30		10:20	12:00	14:30	16:10	17:50	19:30		10:20	12:00	14:30	16:10	17:50	19:30		10:20	12:00	14:30	16:10	17:50	19:30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
9	5	病理各論系II		内分泌・代謝・栄養系				6	生殖系	血液リンパ系					7	生殖系	腎泌尿器系	医学英語			8	病理各論系II		小児系		医学英語		9	免疫・アレルギー疾患系	内分泌・代謝・栄養系		医学英語																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	12							13							14						15							16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	19	敬老の日						20							21						22	秋分の日						23																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	26	病理各論系II		内分泌・代謝・栄養系				27							28						29	病理各論系II		小児系	医学英語		30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
10	体育の日							11							12						生殖系						腎泌尿器系	医学英語						13	14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
17	病理各論系II		内分泌・代謝・栄養系															18	19	20														放射線医学		小児系	医学英語		21																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
24				25	放射線医学	小児系	26											27	28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
10	3	体育の日						4	生殖系	血液・リンパ系					国際医療英語			5	生殖系	腎泌尿器系	医学英語				6	病理各論系II		小児系		医学英語		7	免疫・アレルギー疾患系TBL	医と社会III		医学英語																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	10							11			12	13	14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	17							病理各論系II				内分泌・代謝・栄養系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

医 と 社 会 Ⅲ

前期

責任者	氏 名	安武 亨	内 線	7987
	教 室	先端医育センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16 時 30 分～17 時 30 分		

対象年次・学期	3 年・通年（前期）	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Medical ethics and philosophy		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

患者の立場に立った医療を行える医師を目指すために、診療所の体験を通して、患者との良好なコミュニケーションのとり方、患者の診察法、チーム医療の重要性を理解する。また病気に苦しんでいる人と接する際の医学生としての基本的マナーや心構えおよび対応の仕方などを学ぶ。

同時に診察、介護などの体験実習を通して、診察や介護面で出てきた問題点を抽出し、自己による問題解決能力を身につける能動学習法を実践する。また、前学年に引き続き地域包括ケアシステムの理解をさらに深め、診療器具を実際に操作する中で、診療の心得を習得する。また、ワークライフバランスについて、仕事と生活の相乗効果を高める考え方を学ぶ。

2. 授業内容（講義・実習項目）

1) 実習

(1)診療所体験実習 (2)診療の心得

2) 講義(実習も含む)内容

- | | |
|-------------------------|----------------|
| (1) 患者とのコミュニケーション（模擬患者） | (5) 地域医療 |
| (2) 患者診察入門 | (6) ワークライフバランス |
| (3) 介護・介助 | (7) 地域包括ケアシステム |
| (4) 多職種間医療連携 | |

3) 体験討論・レポート作成

診療所等の体験について討論し、レポートを作成する。

3. 教科書、参考書等

適宜プリントを配付する。

4. 成績評価の方法・基準

実習状況、出欠状況などを総合して評価する。講義・実習には全て出席すること。授業回数の 3 分の 1 を超えて欠席した者は失格とする。

5. 教員名

メディカルワークライフバランスセンター：伊東 昌子

榑木晶子（九州大学大学院医学研究院保健学部門）

保健学科：井口 茂

歯学部：藤原 卓

周術期口腔管理センター：梅田 正博

摂食嚥下リハビリテーションセンター：三串 伸哉

薬学部：中嶋 幹郎

歯学部：吉村 篤利

先端医育センター：安武 亨、田中 邦彦、江川 亜希子

地域包括ケア教育センター：永田 康浩、久芳 さやか、西野 文子、松坂 雄亮、
濱口 由子

消化器内科：中尾一彦、竹島史直

地域医療学：前田隆浩、門田耕一郎

6. 備考

学外実習については、オリエンテーションを行うので実施要項に従う。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

後期

責任者	氏 名	安武 亨	内 線	7987
	教 室	先端医育センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	3年・通年（後期）	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Medical ethics and philosophy		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

これまで医と社会では、「病気を診るだけでなく病める人の心とおかれている社会・環境を洞察しうる医師となる」ことなどをめざして、主として医療従事者から見た講義・実習が行われてきた。一方、我々がおかれている現代社会において、「何が正義か?」、「何に価値をおくべきか?」、「倫理観とはどうあるべきか?」、といった根本的な哲学については、病気の診断・治療などの現場の対応に追われていると、社会背景を考慮しているようでも、しだいに見えなくなってゆくものがある。3年生後期の医と社会では、医療職でない立場の人から見た場合の、それら哲学・倫理・社会観を紹介していただき、そこで提起される問題について、学生の皆さんと一緒に考えてもらうことをひとつの目標とする。また、これまでなかなか触れる機会の少なかった歯学系分野についても学んでいく。

2. 授業内容（講義・実習項目）

本年度は、医療倫理分野、歯学系分野、薬害問題、国家行政等幅広い分野についてのお話を聞き、医療をより様々な面より考える。

3. 教科書、参考書等

適宜プリントを配付する。

4. 成績評価の方法・基準

出席状況などを総合して評価する。講義には全て出席すること。授業回数の3分の1を超えて欠席した者は失格とする。

5. 教員名

秋葉 悦子（富山大学経済学部）
 間宮 清（いしずえの会）
 貝沼 茂三郎（九州大学大学院医学研究院地域医療教育ユニット）
 坂上 祐樹（宮崎市健康管理部）
 秋野 公造（参議院議員）
 藤原 卓（歯学部）
 中山 鋼（研究高度化支援室）
 裴英洙（ハイズ株式会社代表取締役社長）
 中富 克己（第二内科）

6. 備考

10/7、10/14、10/21は 歯学部（5年次）との共修である。

H28年度3年生

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容		担当講座等・教員	教室
4	7	木	3	地域包括	地域包括ケアにおける医療の役割		地域包括ケア教育センター：永田 康浩 保健学科：井口 茂	4講
4	7	木	4		リハビリテーション総論			4講
4	14	木	3	医育センター	う蝕（むし歯）について		歯学部：藤原 卓	4講
4	14	木	4	医育センター	行動科学		医育センター：安武 亨	4講
4	21	木	3	地域包括	口腔ケアに関する授業		地域包括ケア教育センター：永田 康浩 周術期口腔ケアセンター：梅田 正博	4講
4	21	木	4		摂食嚥下リハビリに関して		地域包括ケア教育センター：永田 康浩 摂食嚥下リハビリテーションセンター：三串 伸哉	4講
4	28	木	3	地域包括	地域包括ケアにおける薬剤師の役割		薬学部：中嶋 幹郎 地域包括ケア教育センター：永田 康浩	4講
4	28	木	4		医療と栄養		4講	
5	25	水	3	オリエンテーション	学外体験実習について		地域包括ケア教育センター	4講
5	25	水	4		未定			4講
6	3	金	3	Early Exposure	診療所（１）	診療の心得	地域包括ケア教育センター	4講
6	3	金	4				地域包括ケア教育センター	4講
6	10	金	3	Early Exposure	診療所（２）	診療の心得	地域包括ケア教育センター	4講
6	10	金	4				地域包括ケア教育センター	4講
6	17	金	3	Early Exposure	診療の心得	診療所（１）	地域包括ケア教育センター	4講
6	17	金	4				地域包括ケア教育センター	4講
6	24	金	3	Early Exposure	診療の心得	診療所（２）	地域包括ケア教育センター	4講
6	24	金	4				地域包括ケア教育センター	4講
6	28	火	3	医育センター	歯周病について		歯周病学分野：吉村 篤利	1講
6	28	火	4	医育センター	矯正医療について		福岡矯正管区	1講
7	4	月	1	ワークライフバランス	医師にとってのワークライフバランス		伊東 昌子	4講
7	4	月	2		P B L グループ討論		伊東 昌子	4講
7	4	月	3		グループ発表・全体討論		伊東 昌子	4講
7	4	月	4		キャリア講習		伊東 昌子、 外部講師：樗木 晶子	4講
7	13	水	1	Early Exposure	実習のフィードバック・まとめ		地域包括ケア教育センター	4講
7	13	水	2				4講	

医と社会授業予定(3年後期)

10	7	金	3	医療安全や医療の質管理		歯学部：藤原 卓	4講
10	7	金	4	国家行政での業務について		研究高度化支援室（MEDURA）： 中山 鋼	4講
10	14	金	3	未定			4講
10	14	金	4	終末期医療における倫理と法 — 医師の職業倫理に立脚した法の形成に向けて —		富山大学：秋葉 悦子	4講
10	21	金	3	薬害問題(市販薬の薬害／サリドマイド)		間宮 清	4講
10	21	金	4	日常診療の臨床倫理		第二内科：中富 克己	4講
10	28	金	3	地域医療	我が国の医療・介護制度について	宮崎市健康管理部 坂上 祐樹	4講
10	28	金	4		地域医療	参議院議員 秋野 公造	4講
11	4	金	3	漢方について		貝沼 茂三郎	4講
11	4	金	4	病院経営について		ハイズ株式会社代表取締役 社長：裴英洙	4講

環 境 因 子 系

責 任 者	氏 名	工藤 崇	内 線	7101
	教 室	原研放射（アイソトープ診断治療学）	e-mail	tkudo123@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:30～17:30		

対象年次・学期	3年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Environmental Science		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

生活環境には電離放射線や紫外線が存在し、特に電離放射線は医療や研究に利用されている。これらの放射線の性質・作用および医療における利用法を学び、放射線に関する基礎知識を身につける。さらには、放射線・紫外線の健康影響を自分で調査・評価できる技術を習得する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

放射線・紫外線の性質・作用・健康リスクを分子レベルから組織レベル、個体レベルにいたる多方面から幅広く解説する。また、長崎原爆や福島原発事故の話題も交えながら放射線防護、疫学について解説する。

実習では、放射線の測定および被ばくによる健康リスク評価を体験し、技術を習得する。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
放射線基礎医学	青山 喬 編纂	金芳堂	5,900 円

この他に、各自で授業に関連した興味深い本を探してください。

4. 成績評価の方法・基準

期末試験：80%

授業への取り組み：20%

5. 教員名

原研放射：工藤 崇、井原 誠、西 弘大

原研医療：鈴木啓司

原研情報：三根真理子、近藤久義

原研アイソ：松田尚樹、山内基弘

6. 備考（準備学習等）

LACSに講義資料を掲示するので、予習しておくこと。

実習に欠席しなければならない場合は、あらかじめ届けるか、連絡すること。

7. アクティブラーニング

小テスト、実習レポートをLACSで行い、授業への取り組みを評価する。

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	5	火	3	放射線物理学	放射能・放射線の基礎物理学	西	2講
4	5	火	4	放射線生物学 (1)	放射線生物作用	井原	2講
4	12	火	3	放射線生物学 (2)	DNA損傷修復と放射線分子細胞応答	鈴木	2講
4	12	火	4	放射線生物学 (3)	放射線による細胞死誘導と組織反応	鈴木	2講
4	19	火	3	放射線生物学 (4)	個体レベルの放射線影響とがんの放射線治療	山内	2講
4	19	火	4	放射線生物学 (5)	集団レベルの放射線影響	山内	2講
4	26	火	3	放射線防護学	放射線防護のための規制科学と福島原発事故	松田	2講
4	26	火	4	非電離放射線	太陽紫外線による健康影響	松田	2講
5	10	火	3	原爆放射線の影響	長崎原爆と医科大学	三根	2講
5	10	火	4	放射線影響の解析	統計・疫学的解析	近藤	2講
5	24	火	3	放射線の利用	医療における放射線利用と放射線防護の基礎	工藤	2講
5	24	火	4	放射線計測学	放射線計測の基礎	西	2講
5	31	火	3	実習	放射線被ばくによる健康リスク解析実習	原研放射アイソトープ実験施設	RI実験施設
5	31	火	4		データ解析	原研情報	CBT室
6	7	火	3	実習	放射線被ばくによる健康リスク解析実習	原研放射アイソトープ実験施設	RI実験施設
6	7	火	4		データ解析	原研情報	CBT室
6	14	火	3	実習	放射線被ばくによる健康リスク解析実習	原研放射アイソトープ実験施設	RI実験施設
6	14	火	4		データ解析	原研情報	CBT室
6	21	火	3	実習	放射線被ばくによる健康リスク解析実習	原研放射アイソトープ実験施設	RI実験施設
6	21	火	4		データ解析	原研情報	CBT室

薬 理 系

責任者	氏 名	有賀 純	内 線	7043
	教 室	医科薬理学	e-mail	aruga@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	水曜日17:00 - 18:30		

対象年次・学期	3年・通年	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Medical Pharmacology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：薬理学は薬と生体の相互作用について研究する科学である。薬理学は疾患の治療体系の構築に密接に関わると同時に、解剖学、生理学、生化学、化学、情報科学などさまざまな周辺科学の進展に支えられ、貢献してきた。したがって、薬理学の講義・実習においては、薬についての知識を既習の臨床・基礎医学についての知識・経験に関連づけ、柔軟に応用が可能な知識体系を各自が構築することが求められる。講義においては、自ら問題点を見だし、解決していく能力を養うことを重視する。新薬の利害得失を勘案し、安全で最適な薬物療法を考える能力をもつ医師や研究者の育成を目的とする。

到達目標：生体と薬物の相互作用について系統的に説明できる。

薬物の起源と性質、薬物開発の戦略について説明できる。

適切に取り扱いのもとに動物実験を行い、結果を評価することができる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

薬理学総論、及び臓器機能別薬物の作用機序並びに各病態における薬物応用理論、さらに医薬品創薬について講ずる。一部項目については実習を課す。

3. 教科書・参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
薬がみえる (vol. 1-4)	医療情報科学研究所	メディックメディア	3,600円/vol
NEW 薬理学 (第6版)	編者：田中千賀子、加藤隆一	南江堂	9,240円
Lippincott's Illustrated Reviews: Pharmacology (6 th Ed)	編者：R. A. Harvey	Wolters Kluwer	7,645円
ハーバード大学講義テキスト：臨床薬理学 (原書3版)	編者：D. E. Golan 監訳：渡邊 裕司	丸 善	14,580円
Goodman & Gilman's The Pharmacological Basis of Therapeutics (12 th Ed)	編者：L. L. Brunton	McGraw-Hill	20,385円

4. 成績評価の方法・基準

試験は筆答形式で行い、実習レポート、課題レポート、授業内試験の評価を加えて総合的に評価する。100点満点中、60点以上の得点をもって合格とする。薬理学実習は、薬理学筆答試験受験のために必修である。実習を行い、実習レポートをすべて提出し、受理された者のみが、薬理学筆答試験を受験する資格を有する。

5. 教員名

医科薬理学：有賀純、中川慎介、巽理恵、畑山実

薬学部薬物治療学：塚元和弘

6. 備考（準備学習等）

教科書・参考書などで予習し、かつ適応となる疾患の理解をしておくこと。

実習前には、配布される実習テキストを読んで予習しておくこと。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	6	水	3	総論・薬理学総論1	総論	薬理・有賀	2講
4	7	木	1	総論・薬理学総論2	薬物受容体と細胞内情報伝達系	薬理・有賀	2講
4	7	木	2	総論・生理活性物質	カテコールアミン	薬理・有賀	2講
4	13	水	3	総論・末梢神経作用薬 1	アドレナリン作用薬	薬理・有賀	2講
4	14	木	1	総論・末梢神経作用薬2	抗アドレナリン薬	薬理・有賀	2講
4	14	木	2	総論・生理活性物質	アセチルコリン	薬理・有賀	2講
4	20	水	3	総論・末梢神経作用薬3	コリン薬・抗コリン薬	薬理・有賀	2講
4	21	木	1	循環薬理1	降圧薬	薬理・中川	2講
4	21	木	2	循環薬理2	虚血性心疾患治療薬	薬理・中川	2講
4	27	水	3	循環薬理3	心不全治療薬	薬理・中川	2講
4	28	木	1	循環薬理4	利尿薬	薬理・中川	2講
4	28	木	2	循環薬理5	抗不整脈薬	薬理・中川	2講
5	11	水	3	総論・生理活性物質	ペプチド	薬理・中川	2講
5	12	木	1	総論・生理活性物質	セロトニン・ヒスタミン	薬理・中川	2講
5	12	木	2	総論・生理活性物質	アミノ酸	薬理・中川	2講
5	19	木	1	総論・末梢神経作用薬4	自律神経作用薬・神経筋作用薬	薬理・有賀	2講
5	19	木	2	総論・末梢神経作用薬5	局所麻酔薬	薬理・有賀	2講
5	26	木	1	総論・生理活性物質	エイコサノイド・サイトカイン	薬理・有賀	2講
5	26	木	2	総論・炎症免疫薬理学	鎮痛薬・解熱薬	薬理・有賀	2講
6	2	木	1	総論・炎症免疫薬理学	抗炎症薬・副腎皮質ステロイド	薬理・有賀	2講
6	2	木	2	総論・薬物動態	薬物代謝・薬物相互作用	薬理・有賀	2講
6	9	木	1	呼吸器	呼吸器作用薬	薬理・巽	3講
6	9	木	2	消化器	消化器疾患治療薬	薬理・巽	3講
6	16	木	1	総論・感染症	抗菌薬	薬理・有賀	2講
6	16	木	2	総論・感染症	抗真菌薬・抗ウイルス薬	薬理・有賀	2講
6	23	木	1	総論・腫瘍薬理学	抗腫瘍薬	薬理・畑山	3講
6	23	木	2	総論・腫瘍薬理学	抗腫瘍性分子標的薬	薬理・畑山	3講
6	30	木	3	総論・薬物治療学	薬剤感受性遺伝子と抗腫瘍薬の薬剤耐性	薬学部・塚元	2講
6	30	木	4	総論・創薬	臨床試験・実験動物の取り扱い	薬理・有賀	2講
7	11	月	3	薬理学実習1	1) 血圧に作用する薬物 2) 腸管に作用する薬物	薬理学教員	実1、セミナー 3・4・5
7	11	月	4	薬理学実習1	3) 中枢神経系に作用する薬物 4) カフェインの作用	薬理学教員	実1、セミナー 3・4・5
7	13	水	3	薬理学実習2	1) 血圧に作用する薬物 2) 腸管に作用する薬物	薬理学教員	実1、セミナー 3・4・5
7	13	水	4	薬理学実習2	3) 中枢神経系に作用する薬物 4) カフェインの作用	薬理学教員	実1、セミナー 3・4・5

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
7	19	火	3	薬理学実習3	1) 血圧に作用する薬物 2) 腸管に作用する薬物	薬理学教員	実1、セミナー 3・4・5
7	19	火	4	薬理学実習3	3) 中枢神経系に作用する薬物 4) カフェインの作用	薬理学教員	実1、セミナー 3・4・5
7	20	水	3	薬理学実習4	1) 血圧に作用する薬物 2) 腸管に作用する薬物	薬理学教員	実1、セミナー 3・4・5
7	20	水	4	薬理学実習4	3) 中枢神経系に作用する薬物 4) カフェインの作用	薬理学教員	実1、セミナー 3・4・5

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
11	11	金	1	内分泌代謝	糖尿病薬	薬理・有賀	3講
11	11	金	2	内分泌代謝	高脂血症・痛風治療薬	薬理・有賀	3講
11	25	金	1	内分泌代謝	内分泌代謝疾患治療薬	薬理・中川	3講
11	25	金	2	血液リンパ	抗凝固抗血小板薬	薬理・中川	3講

病 理 各 論 系

責任者	氏 名	福岡 順也	内 線	7055
	教 室	病理学 (病理二)	e-mail	fukuokaj@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	9:00-17:00 事前予約してください。		

対象年次・学期	3年・通年	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	4
英語名	Organ Pathology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

病理診断は、臨床において疾患の最終診断を決定する、重要な診断部門を担う。病理総論では、生体の基本的な防御機構や反応、及び組織の病変形成機序について学んだ。病理各論は病理疾病論と病理診断学の2つに分かれる。病理疾病論として各臓器における代表的な疾患の病理学的概念を学び、病理診断学においては、臨床に則した病理診断のポイント、鑑別疾患について学ぶ。各論を通じて具体的な疾患の病理組織変化を自らの目で確かめ、代表疾患の病理診断を行う事が出来、各疾患の持つ特徴的病変が臨床へどのように反映されるかを学び、更に治療の効果やその影響を理解する上で重要な病理学的知識を習得する。臓器別の臨床各系の講義の前後に各分野の病理各論を配置し、その領域の総合的理解を深めるように時間割りが組まれている。

2. 授業内容（講義・実習項目）

[病理各論 I] 3年前期に第一病理、第二病理、病院病理診断科、原研病理にて担当し、以下の各項目の講義および実習を行う。

講義項目：呼吸器、消化器、循環器。

[病理各論 II] 3年後期に第二病理、病院病理診断科、原研病理、口腔病理にて担当し、以下の各項目の講義および実習を行う。

講義項目：生殖器、乳腺、内分泌、血液、腎泌尿器、脳神経、細胞診。

3. 教科書、参考書等

特に指定教科書はないが、掲げた教科書以外にも良書は多い。英語の優れたテキストも多く、読みやすいものを選ぶとよい。

テキストブック

	書 名	著 者	出 版 社	定 価
原著	新病理学各論	菊池浩吉、他	南山堂	12,600円
原著	Pathologic Basis of Disease	Cotran, R. S. 他	W. B. Saunders Co	12,285円
訳本	ロビンス基礎病理学	Kumar, V. 他 (森亘、桶田理喜 監訳)	廣川書店	18,900円
訳本	カラー版アンダーウッド病理学	Underwood, J. C. E. (鈴木利光、森道夫 監訳)	西村書店	7,875円
訳本	人体病理学	Stevens, A. & Lowe, J. (石倉 浩 監訳)	南江堂	9,450円
訳本	ルービンカラー基本病理学	Ruben, E. (河原栄、横井豊治 監訳)	西村書店	6,510円

アトラス

	書 名	著 者	出 版 社	定 価
原著	病理組織の見方と鑑別診断 カラーアトラス	赤木忠厚 他	医歯薬出版	13,650円
原著	組織病理アトラス	藍沢茂雄 他 (編集)	文光堂	12,600円
訳本	カラーアトラス 基礎組織病理学	Stevens, A. 他 (今井大、山川光徳 監訳)	西村書店	7,140円
訳本	アンダーソン 病理学カラーアトラス	Damjanov, I. & Linder, J. (山口和克 翻訳)	メディカル サイエンス インターナショナル	12,600円

4. 成績評価の方法・基準

前期末及び後期末の講義終了後に、それぞれ[病理各論Ⅰ]と[病理各論Ⅱ]の試験を行う。試験問題、解答は基本的に英語で実施。試験点に加え、出席状況とレポートの内容を加味して評価する。各領域ともに6割以上を合格点とする。

5. 教員名

探索病理学（病理1）：下川功、森亮一、林洋子、Park Seongjoon

病理診断科学（病理2）：福岡順也、新野大介、二反田隆夫

原研病理：中島正洋、七條和子、三浦史郎

病院病理診断科：安倍邦子、木下直江、田畑和宏

口腔病理：池田通

非常勤講師：伊藤智雄（神戸大学）、伊東正博（長崎医療センター）、大谷博（福岡白十字病院）、Kevin Leslie (Mayo Clinic)、Mathew Zarka (Mayo Clinic)、浅田祐士郎（宮崎大学）、杉谷雅彦（日本大学）岸川正大（長崎病理診断科）

6. 備考（準備学習等）

病理総論で学んだ事項を十分に理解しておくこと。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室	教室
4	1	金	2	病理疾患論	感染症（各論的疾患概論）	三浦	3講	原研
4	5	火	1	病理疾患論	呼吸器（各論的疾患概論）	中島	1講	原研
			2		呼吸器（各論的疾患概論）			
4	8	金	2	病理診断学	感染症（講義・実習）	新野	1講	2 病
4	12	火	1	病理診断学	呼吸器・間質性肺炎（講義）	橋迫	CBT室	2 病
			2		呼吸器・間質性肺炎（実習）			
4	15	金	2	病理診断学	消化器・口腔（講義・実習）	池田	1講	歯学部
4	19	火	1	病理疾患論	消化器（各論的疾患概論）	三浦	1講	原研
			2		消化器（各論的疾患概論）			
4	22	金	2	病理診断学	呼吸器・びまん性肺疾患1（講義・実習）	福岡	CBT室	2 病
4	26	火	1	病理診断学	心疾患概論（各論的疾患概論）（講義）	下川	1講	1 病
			2		心疾患概論（各論的疾患概論）（実習）		CBT室	
5	6	金	2	病理診断学	呼吸器・びまん性肺疾患2（講義・実習）	福岡	CBT室	2 病
5	10	火	1	病理診断学	循環器・心虚血性疾患（講義）	下川	1講	1 病
			2		循環器・心虚血性疾患（実習）		CBT室	
5	13	金	2	病理診断学	呼吸器・肺癌（e-learning）	福岡	CBT室	2 病
5	20	金	2	病理診断学	呼吸器・肺癌（講義・実習）	福岡	CBT室	2 病
5	24	火	1	病理診断学	消化器・唾液腺・食道（講義）	田畑	CBT室	2 病
			2		消化器・唾液腺・食道（実習）			
5	27	金	2	病理診断学	呼吸器・肺癌（実習）	福岡	CBT室	2 病
5	31	火	1	病理診断学	消化器・腸炎症（講義）	新野	CBT室	2 病
			2		消化器・腸炎症（実習）			
6	3	金	2	病理疾患論	呼吸器・縦隔（講義・実習）	福岡	CBT室	2 病
6	7	火	1	病理診断学	消化器・腸腫瘍（講義）	田畑	CBT室	2 病
			2		消化器・腸腫瘍（実習）			
6	10	金	2	病理診断学	細胞診/分子・呼吸器（講義・実習）	福岡・布村	CBT室	2 病
6	14	火	1	病理診断学	消化器・胃（講義）	福岡・唐田	CBT室	2 病
			2		消化器・胃（実習）			
6	17	金	2	病理診断学	消化器・肝胆膵炎症（講義・実習）	木下	CBT室	2 病
6	21	火	1	病理診断学	消化器：臨床と病理（講義）	橋口	2講	原研
			2		消化器：肝疾患（講義）	伊東正博先生(医療センター)		
6	24	金	2	病理診断学	消化器・肝非腫瘍（講義・実習）	伊藤（神戸大）	CBT室	2 病
6	28	火	1	病理診断学	消化器・胆嚢・膵臓（講義）	木下	CBT室	2 病
			2		消化器・胆嚢・膵臓（実習）			
7	1	金	2	病理疾患論	細胞診・消化器/体腔（講義・実習）	二反田・Ruben	CBT室	2 病
7	5	火	1	病理診断学	循環器・心・非虚血性疾患（講義）	下川	1講	1 病
			2		循環器・心・非虚血性疾患（実習）		CBT室	
7	8	金	2	病理診断学	脈管・硬化/解離/瘤（講義・実習）	福岡・石田	CBT室	2 病
7	12	火	3	病理診断学	脈管・血管炎（講義・実習）	福岡	CBT室	2 病
			4		脈管・奇形/腫瘍（講義・実習）			
7	15	金	2	病理診断学	症例検討（呼吸器/消化器/循環器）（実習）	福岡	CBT室	2 病

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	5	月	1	病理疾患論	内分泌（各論的疾患概論）	中島	3講
			2		内分泌（各論的疾患概論）		
9	8	木	1	病理診断学	乳腺（講義）	安倍	3講
			2		乳腺（実習）		
9	12	月	1	病理診断学	血液・リンパ系・腫瘍（講義）	新野	3講
			2		血液・リンパ系・腫瘍（実習）		
9	15	木	1	病理診断学	内分泌・下垂体（講義・実習）	安倍	CBT室
			2		内分泌・副腎（講義・実習）		
9	26	月	1	病理診断学	血液・リンパ系・非腫瘍（講義）	新野	CBT室
			2		血液・リンパ系・非腫瘍（実習）		
9	29	木	1	病理診断学	泌尿器・前立腺（講義）	古里	3講
			2		泌尿器・前立腺（実習）		
10	3	月	1	病理診断学	内分泌・甲状腺（講義・実習）	安倍	CBT室
			2		内分泌・副甲状腺, 膵島他（講義・実習）		
10	6	木	1	病理診断学	細胞診	松田	2講
			2		脳神経：循環障害・感染症（講義）	中島	
10	13	木	1	病理診断学	脳神経：腫瘍（講義）	中島	実2
			2		脳神経：循環障害・感染症・腫瘍（実習）		
10	17	月	1	病理診断学	生殖系・子宮頸部（講義・実習）	福岡・三上	CBT室
			2		生殖系・子宮体部（講義・実習）		
10	24	月	1	病理診断学	生殖系・卵巣（講義・実習）	古里	CBT室
			2		生殖系・男性生殖器（講義・実習）		
10	31	月	1	病理診断学	脳神経：変性疾患	岸川先生(長崎病理診断科)	実2
			2		脳神経：変性疾患（実習）		
11	7	月	1	病理診断学	泌尿器・膀胱・尿管（講義・実習）	古里	CBT室
			2		泌尿器・腎（講義・実習）		
11	14	月	1	病理診断学	細胞診・生殖・泌尿器（講義・実習）	二反田・Ruben	実2
			2		分子病理診断（講義・実習）	古里・今岡	
11	21	月	1	病理診断学	Pathology in US	非常勤講師（未定）	3講
			2		病理診断に関わるその他全て・展望	福岡	

循環器系

責任者	氏 名	前村 浩二	内 線	7288
	教 室	循環器内科学	e-mail	maemura@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:30～17:30		

対象年次・学期	3年・前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Cardiovascular Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

循環器疾患の病因と病態を理解した上で、診察法、検査法、治療法について系統的に効率よく理解することを目指す。単に知識だけを学習するにとどまらず、循環器疾患特有の即座に対応せねばならない判断力、患者さんに対する倫理観を踏まえての対話・表現力などを習得する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義内容は心臓血管系の発生、形態および機能、循環器検査法、循環器診断学、心不全、先天性心疾患、心臓弁膜症、心筋症、心内膜疾患、心膜疾患、心臓腫瘍、循環器感染症、虚血性心疾患、肺循環障害、動脈硬化、大動脈疾患、中・小動脈疾患、静脈疾患、不整脈、高血圧、低血圧とする。

近年の循環器疾患の進歩は目覚ましく、従来のように心行動態を中心とした理解のみでは不十分である。講義内容はその領域の専門家に重要事項がもれないようにお願いし、しかも簡潔に要領よく講義して疾患および病態の本質が正確に理解できるように努める。また、講義内容があまり専門的にならず基本的事項を十分に理解できるようにすることを原則とする。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
内科学 第10版	矢崎義雄 監修	朝倉書店	29,000円
新臨床内科学 第9版	高久史麿 他監修	医学書院	22,000円
循環器内科学	水野杏一 他編	丸善出版	4,900円
HARRISON'S PRINCIPLES OF INTERNAL MEDICINE, 19th Edition	Longo, et.al	McGraw-Hill	39,840円
BRAUNWALD'S HEART DISEASE, 10th Edition	Mann et.al	南江堂	32,000円
標準小児科学 第8版	内山聖 監修	医学書院	8,800円
周生期循環異常	中澤誠 編	メジカルビュー社	5,500円
新 目で見える循環器病シリーズ13ー先天性心疾患ー	中澤誠 編	メジカルビュー社	9,500円

4. 成績評価の方法・基準

講義終了後に試験を施行して評価する。試験100%であるが、国家試験形式では評価できない修得度は記述式問題で評価する。**60%以上**を合格とする。ただし、総合点が60%以上であっても、循環生理、放射線科(アイソトープ診断治療含む)、小児科、心臓血管外科、循環器内科それぞれで**45%**に満たない場合は、それぞれの科の分だけの再試とする。

5. 教員名

循環器内科：前村浩二、河野浩章、小出優史、池田聡司、片山敏郎、深江学芸
恒任章、土居寿志、古賀聖士、米倉剛、荒川修司

分子生理：蒔田直昌

小児科：蓮把朋之

心臓血管外科：江石清行、谷川和好

放射線科：坂本一郎

アイソトープ診断治療：工藤崇

非常勤講師：瀬戸信二、芦澤直人、山近史郎、濱脇正好、松岡陽治郎、本村秀樹

6. 備考（準備学習等）

循環器学教科書および診断学教科書を用いて講義の前に予め予習しておくこと。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	4	月	3	循環器総論	総論・症候学	循環器内科・前村	3講
4	4	月	4	心機能検査	心エコー図、心臓カテーテル検査	循環器内科・恒任	3講
4	6	水	4	心電図	心電図の基本	循環器内科・深江	3講
4	11	月	3	循環器総論	心臓血管の構造と機能（１）	分子生理・蒔田	3講
4	11	月	4		心臓血管の構造と機能（２）	分子生理・蒔田	3講
4	13	水	4	循環器画像診断	循環器の画像診断（総論・後天性心疾患）	放射線科・坂本	3講
4	18	月	3	弁膜疾患	弁膜症（１）	非常勤・瀬戸	3講
4	18	月	4		弁膜症（２）	非常勤・瀬戸	3講
4	20	水	4		心エコー・手術適応	非常勤・山近	3講
4	25	月	3		弁膜症の外科（１）	心外科・江石	3講
4	25	月	4		弁膜症の外科（２）	心外科・江石	3講
4	27	水	4	心電図	心電図判読の実際	循環器内科・荒川	3講
5	2	月	3	心膜・心内膜・腫瘍	心膜炎、感染性心内膜炎、心臓腫瘍	循環器内科・米倉	3講
5	2	月	4	小児心疾患	リウマチ熱、川崎病	小児科・蓮把	3講
5	9	月	3	心不全	急性心不全	循環器内科・小出	3講
5	9	月	4		慢性心不全	循環器内科・小出	3講
5	11	水	4	心電図	心電図演習	循環器内科・荒川	3講
5	16	月	3	虚血性心疾患	狭心症	循環器内科・片山	3講
5	16	月	4		心筋梗塞	循環器内科・片山	3講
5	23	月	3		狭心症・心筋梗塞の治療	循環器内科・古賀	3講
5	23	月	4		虚血性心疾患の外科	心外科・江石	3講
5	30	月	3	血圧異常	本態性高血圧症	循環器内科・河野	3講
5	30	月	4		二次性高血圧症、低血圧	循環器内科・河野	3講
6	6	月	3	先天性心疾患	非チアノーゼ群	非常勤・本村	3講
6	6	月	4		チアノーゼ群	小児科・蓮把	3講
6	13	月	3	不整脈	上室性・心室性不整脈、WPW症候群	循環器内科・土居	3講
6	13	月	4		房室ブロック、洞不全症候群、ペースメーカ	循環器内科・土居	3講
6	20	月	3	循環器画像診断	循環器系の核医学検査	アイソトープ診断治療・工藤	3講
6	20	月	4	循環器画像診断	先天性心疾患の画像診断	非常勤・松岡	3講
6	27	月	3	心筋疾患	心筋症・心筋炎	非常勤・芦澤	2講
6	27	月	4		心筋症・心筋炎	非常勤・芦澤	2講
6	29	水	3	動静脈疾患	動脈・静脈疾患の内科	循環器内科・池田	1講
6	29	水	4		動脈・静脈疾患の外科	心外科・谷川	1講
7	7	木	3	肺循環	肺血栓塞栓症、肺高血圧症、肺性心	循環器内科・池田	4講
7	7	木	4	先天性心疾患	先天性心疾患の外科	非常勤・濱脇	4講
7	11	月	1	不整脈	心臓突然死、植込型除細動器	循環器内科・深江	1講
7	11	月	2	先天性心疾患	成人にみられる先天性心疾患	非常勤・山近	1講
7	12	火	1	TBL	循環器系TBL	循環器内科・土居	4講
7	12	火	2				4講
7	19	火	1	TBL	循環器系TBL	循環器内科・古賀	4講
7	19	火	2				4講

呼 吸 器 系

責任者	氏 名	迎 寛	内 線	7271
	教 室	内科学第二（呼吸器内科）	e-mail	hmukae@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	火曜日 9:00-17:00		

対象年次・学期	3年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2
英語名	Respiratory Diseases		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい: 正常呼吸器系の解剖と生理の知識をもとに、各呼吸器系疾患の病態、診断、治療方法を理解する。
 到達目標: (1) 正常呼吸器系の構造と機能を説明できる。(2) 各呼吸器疾患の病態について説明できる。
 (3) 各呼吸器疾患の診断について説明できる。(4) 各呼吸器疾患の治療について説明できる。

2. 授業内容(講義・実習項目)

正常呼吸器系の構造・機能を基本として各疾患の病態について学ぶ。さらに、内科、外科、放射線学的立場より疾患の症候、診断方法を理解し、疾患に応じた内科および外科的治療について学ぶ。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
ガイドラインをふまえた成人市中肺炎診療の実際	河野 茂 編	医学書院	4,830 円
レジデントのための呼吸器疾患診療マニュアル 第2版	河野 茂、早田 宏 編	医学書院	4,700 円
咳嗽に関するガイドライン第2版	咳嗽に関するガイドライン第2版作成委員会(委員長、河野 茂)	日本呼吸器学会	3,000 円
臨床腫瘍学	日本臨床腫瘍学会 編	癌と化学療法社	25,000 円
呼吸器外科	正岡 昭 編	南江堂	13,390 円
新版: 胸部単純X線診断	林 邦昭、中田 肇 編	秀潤社	4,800 円
胸部単純X線アトラス vol.1肺	芦澤和人 編著	ベクトル・コア	4,500 円
胸部単純X線アトラス vol.2縦隔、胸膜他	芦澤和人 編著	ベクトル・コア	4,300 円

4. 成績評価の方法・基準

○定期考査を100%として評価するが、正当な理由なく全授業時間の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。定期考査は授業時間に応じて各分野(生理・内科・外科・放射線科)から出題を行い、合計60点以上を合格とする。但し、合計60点以上であっても、各分野の得点がある分野で4割未満の場合は不合格となる。

5. 教員名

呼吸器内科学(第二内科): 迎 寛、福島千鶴、尾長谷 靖、坂本憲徳、今村圭文、角川智之、山口博之、原 敦子、早田 宏(非常勤講師)、掛屋 弘(非常勤講師)
 臨床腫瘍学: 泉川公一、宮崎泰可
 腫瘍外科(第一外科): 永安 武、山崎直哉、土谷智史、松本桂太郎
 臨床腫瘍学(がん診療センター): 芦澤和人

6. 備考(準備学習等)

予習については、すでに履修した正常呼吸器系の解剖と生理の項目を復習しておく。

7. アクティブラーニング

10%程度アクティブラーニングを加味する。

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	6	水	1	呼吸器病学総論	構造と疾患	第二内科・迎 寛	4講
4	6	水	2	呼吸生理	呼吸性酸塩基平衡異常と肺による代償機能	第二内科・尾長谷靖	4講
4	13	水	1	びまん性肺疾患	特発性間質性肺炎	第二内科・迎 寛	4講
4	13	水	2		びまん性肺疾患（1）	第二内科・坂本 憲穂	4講
4	27	水	1	呼吸器画像診断	画像診断総論（1）	臨床腫瘍学・芦澤 和人	4講
4	27	水	2		画像診断総論（2）	臨床腫瘍学・芦澤 和人	4講
5	11	水	1	呼吸器感染症	呼吸器感染症総論	臨床感染症学・泉川 公一	4講
5	11	水	2		市中肺炎、肺化膿症	第二内科・迎 寛	4講
5	25	水	1	びまん性肺疾患	びまん性肺疾患（2）	第二内科・角川 智之	4講
5	25	水	2	閉塞性・職業性肺疾患	COPD、塵肺など	第二内科・福島 千鶴	4講
6	1	水	1	呼吸器画像診断	画像診断各論（1）	臨床腫瘍学・芦澤 和人	4講
6	1	水	2		画像診断各論（2）	臨床腫瘍学・芦澤 和人	4講
6	8	水	1	呼吸器感染症	気道感染症	第二内科・非常勤・掛屋 弘	4講
6	8	水	2		結核、非結核性抗酸菌症	第二内科・西條 知見	4講
6	9	木	3	呼吸器外科	縦隔の外科（1）	腫瘍外科・山崎 直哉	4講
6	9	木	4		縦隔の外科（2）	腫瘍外科・山崎 直哉	4講
6	15	水	1	呼吸器外科	肺の外科（1）	腫瘍外科・永安 武	4講
6	15	水	2		肺の外科（2）	腫瘍外科・永安 武	4講
6	16	木	3	呼吸器外科	胸部外傷	腫瘍外科・土谷 智史	4講
6	16	木	4		外科診断技術・周術期管理・手術様式	腫瘍外科・松本 桂太郎	4講
6	22	水	1	呼吸器腫瘍	肺癌、良性腫瘍、放射線肺臓炎	第二内科・山口 博之	4講
6	22	水	2		胸膜と胸壁腫瘍、縦隔腫瘍	第二内科・山口 博之	4講
6	23	木	3	呼吸器感染症	院内肺炎、医療・介護関連肺炎	第二内科・今村 圭文	4講
6	23	木	4		日和見感染症	臨床感染症学・宮崎 泰可	4講
6	29	水	1	アレルギー性肺疾患	気管支喘息	第二内科・尾長谷 靖	4講
6	29	水	2		好酸球性肺疾患	第二内科・尾長谷 靖	4講
7	5	火	3	呼吸器腫瘍	分子標的薬総論	第二内科・非常勤・早田 宏	4講
7	6	水	1	びまん性肺疾患	びまん性肺疾患（3）	第二内科・原 敦子	4講
7	6	水	2	呼吸器内科総括	まとめと復習	第二内科・迎 寛	4講
7	14	木	3	呼吸器外科	肺の外科（3）	腫瘍外科・宮崎 拓郎	4講
7	14	木	4		胸壁・胸膜・横隔膜の外科	腫瘍外科・永安 武	4講

消化器系

責任者	氏 名	中 尾 一 彦	内 線	7481
	教 室	消化器内科	e-mail	kazuhiko@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜日 午前8:30～12:00		

対象年次・学期	3年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Digestive disease		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

消化器系は口腔・唾液腺に始まり、食道・胃・小腸・結腸・直腸・肛門に至る消化管系と肝臓、胆嚢、胆管、膵臓よりなる肝胆膵系に大別される。消化器の病理、症状、検査、内科的消化器疾患、外科的消化器疾患、手術法などを統合包括的に把握し、消化器疾患における基礎的、臨床的な基本的知識を理解、修得する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

消化器系を消化管系と肝胆膵系に大別し、それぞれを病理学、内科学、外科学の順に講義を進行させる。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出 版 社	定 価
1. 消化器病（胃・腸・食道） 分子レベルから病態・診断・治療まで	菅野健太郎 日比紀文 星原芳雄	編 羊土社	6,700 円
2. 図説病態内科講座 消化管2	矢崎義雄	編 Medical View	22,000 円
3. 消化器内視鏡診断テキスト 第1巻：食道・胃・十二指腸 第2巻：小腸・大腸	竹本忠良 長廻 紘	編 文光堂	6,500 円 6,500 円
4. 外科病理学 第4版	向井 清 真鍋俊明 深山正久	編 文光堂	40,000 円
5. 内科学書（全2冊）	島田 馨	編 中山書店	25,000 円

4. 成績評価の方法・基準

試験は病理、内科、外科がそれぞれの担当時間数に応じて配分された点数をもって出題する。各科目の総点を1000点とし、最終的に100点として評価を行う。

5. 教員名

原研病理：中島正洋、三浦史郎

消化器内科：中尾一彦、竹島史直、田浦直太、宮明寿光、三馬聡、赤澤祐子、柴田英貴、本田琢也、松島加代子、小澤栄介、橋口慶一、中舗卓、山島美緒

光学医療診療部：大仁田賢、山口直之

第一外科：飛永修一、角田順久

第二外科：金高賢悟、藤田文彦、小林和真、井上悠介、山口泉

非常勤講師：八橋弘、

6. 備考（準備学習等）

出欠チェックは1コマ毎に行う。出欠状況は成績に反映する。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	1	金	3	消化管ホルモン	消化管ホルモン	消内 赤澤祐子	3講
4	1	金	4	上部消化管－構造機能	食道・胃	消内 竹島史直	3講
4	8	金	3	下部消化管－症候論、機能性疾患	下血、便通異常、脂肪便、過敏性腸症候群など	消内 竹島史直	3講
4	8	金	4	下部消化管－構造・機能	小腸、大腸、先天性異常など		3講
4	15	金	3	上部消化管－症候	腹痛など	消内 松島加代子	3講
4	15	金	4	食道疾患	先天異常、憩室、炎症、腫瘍性疾患など		3講
4	22	金	3	癌取り扱い規約	食道・胃	原病 三浦史郎	3講
4	22	金	4		大腸		3講
5	6	金	3	消化管の内視鏡検査と治療	消化管の内視鏡検査と治療	光学 大仁田賢	3講
5	6	金	4	胃・十二指腸疾患	胃十二指腸の炎症、潰瘍など		3講
5	12	木	3	消化管（外科的疾患）	概念と疾患群など	外2 藤田文彦	3講
5	12	木	4	腸管外科的疾患	小腸・大腸 先天異常	外2 井上悠介	3講
5	13	金	3	食道・胃・十二指腸手術術式	食道損傷など 食道	外2 金高賢悟	3講
5	13	金	4	食道・胃・十二指腸手術術式	胃・十二指腸	外2 小林和真	3講
5	19	木	3	腹壁疾患 直腸・肛門の疾患	外傷など	外2 山口泉	3講
5	19	木	4	胃・十二指腸疾患	胃癌など	光学 大仁田賢	3講
5	20	金	3	大腸疾患（腫瘍）	ポリープ、ポリポシスなど	光学 山口直之	3講
5	20	金	4		癌、カルチノイド腫瘍など		3講
5	26	木	3	大腸疾患（炎症）	炎症性腸疾患（IBD）、虚血性腸炎、腸型ベーチェット病など	消内 竹島史直	3講
5	26	木	4		感染症腸疾患、憩室、放射線照射性腸炎、MPSなど		3講
5	27	金	3	全身性疾患と消化管	膠原病、アミロイドーシス、血液疾患など	消内 橋口慶一	3講
5	27	金	4	小腸疾患	小腸疾患、吸収不良症候群、蛋白漏出性胃腸症	消内 赤澤祐子	3講
6	1	水	3	胆膵疾患	主要症候と検査	消内 小澤栄介	3講
6	1	水	4		胆道癌、膵癌など		3講

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	2	木	3	肝	正常組織・生理機能	消内 中尾一彦	3講
6	2	木	4		先天異常		3講
6	8	水	3	肝	病態生理	消内 中尾一彦	3講
6	8	水	4		代謝性肝疾患(NASH、ASHなど)、薬剤性 1	消内 宮明寿光	3講
6	15	水	3	肝	肝癌、肝良性腫瘍	消内 田浦直太	3講
6	15	水	4				3講
6	22	水	3	肝	急性肝炎（特別講義）	長崎医療センター 八橋弘	3講
6	22	水	4		慢性肝炎（特別講義）		3講
6	30	木	1	外科的疾患	胆道系	外1 飛永修一	2講
6	30	木	2		内分泌腫瘍		2講
7	1	金	3	膵疾患	膵炎など	光学 大仁田賢	1講
7	1	金	4	胆道疾患	炎症・結石		1講
7	7	木	1	外科的疾患	膵臓の手術術式など	外1 角田順久	1講
7	7	木	2	病理の要点	肝胆膵	原病 中島正浩	1講
7	8	金	3	外科的疾患	肝細胞癌など	外1 角田順久	3講
7	8	金	4		肝移植		3講
7	14	木	1	肝	HEV、肝炎ウイルス以外のウイルスと寄生虫膿瘍などの感染症	消内 柴田英貴	3講
7	14	木	2		自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬		3講
7	15	金	3	肝	代謝性肝疾患(NASH、ASHなど)、薬剤性 2	消内 宮明寿光	3講
7	15	金	4		肝硬変、肝不全、静脈瘤、非硬変性門亢症	消内 三馬聡	3講
7	20	水	1	消化器疾患	消化器癌の化学療法	消内 本田琢也	3講
7	20	水	2	肝	胆管癌、転移性肝癌		3講
7	21	木	1	消化器系TBL		消内 橋口慶一、山島美緒、中鋪卓	4講
7	21	木	2				4講

感 染 症 系

責任者	氏 名	泉川 公一	内 線	7731
	教 室	臨床感染症学	e-mail	koizumik@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	水曜日 17:00-18:00		
対象年次・学期		3年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択		必修	単位数	2
英語名		Infectious Diseases		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：感染症は、あらゆる臓器に発症しうる疾病であり、原因微生物も多岐にわたる。感染症が疑われる患者にいかによりアプローチし、的確な診断、適切な治療、さらには感染予防へと結びつけていくかを、多角的な視点から学ぶ。病原体の多様性や感染症の臨床像に対し応用力をつけ、感染予防の方法についても学ぶ。

到達目標：臨床医学の中における感染症の特徴を理解して、説明することができる。感染症の患者へのアプローチや診断、治療、予防を総合的にとらえて説明することができる。また、熱帯感染症についてその背景、特徴を説明することができる。院内感染について、その対策や制御および重要な原因微生物について説明することができる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

概要 内科学の一部を構成する「感染症学」に相当する内容を学習する。主に一般細菌、ウイルス、真菌、寄生虫、抗酸菌感染症の診断と治療を学習する。また、院内感染の予防や感染対策も重要な問題であるため、その対策の実際を学び、実習も行う。さらにグローバル化を背景に日本でも見られるようになったマalaria、デング熱、下痢症、新興感染症についても学ぶ。おのおのの病原体の基礎知識、宿主-病原体関係について理解し感染症の病態生理を根本的に理解する。

3. 教科書、参考書等

以下のものを参考書として推薦する。

Mandel GL, Bennett JE, Dolin R. 8th ed 「Principles and Practice of Infectious Diseases」

Mayhall CG. 4th ed 「Hospital Epidemiology and Infection Control」

Richard A. Harvey 山口恵三/松本哲哉 監訳 「イラストレイテッド微生物学 第2版」 丸善株式会社

河野 茂 編 「感染症のとりえ方」 文光堂

4. 成績評価の方法・基準

期末試験100%。授業内容を中心に出题する試験により行う。**60%未満の得点は不合格とする。**

5. 教員名

臨床感染症学：泉川公一、宮崎泰可、高園貴弘、田代将人

病態解析・診断学（検査部）：柳原克紀

呼吸器病態制御学（第二内科）：今村圭文、西條知見

感染制御教育センター：塚本美鈴、山本和子、田中章貴

感染病態制御学分野（小児科）：森内浩幸

臨床感染症学分野（熱研内科）：有吉紅也、森本浩之輔

熱研 ウイルス学分野：森田公一

熱研 寄生虫学分野：濱野真二郎

比較動物医学分野（動物実験施設）：大沢一貫

分子治療研究分野（原研内科）：田口 潤

6. 備考（準備学習等）

すでに2年次に履修した感染系の各項目を復習しておくこと。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味し、**授業の15%をアクティブラーニングとする。**

月	日	曜日	授 業 項 目	授 業 内 容	担当講座等・教員	教室
4	4	月	感染症の救急診療	感染症領域における救急診療のポイントを実際の症例を交えながら学ぶ。	第二内科・今村	4講
4	4	月	感染症診療のための基本的アプローチ：感染症の診断法	感染症の古典的な鏡顕や培養、抗血清による診断法から、近年開発された尿中抗原検査や遺伝子診断まで適応や意義を学ぶ。	臨床感染症学・泉川	4講
4	11	月	感染症の予防(1)：能動免疫	ワクチン接種による感染症の予防法についての総論と、代表的なワクチンの各論について学ぶ。	小児科・森内	4講
4	11	月	感染症の予防(2)：受動免疫, その他	免疫グロブリン療法による受動免疫やその他の手段による感染症の予防法について学ぶ。	小児科・森内	4講
4	18	月	ウイルス感染症の診断	ウイルス感染症の診断法の総論と、他の授業では取り上げられないウイルスの診断法の各論を概説する。	小児科・森内	4講
4	18	月	ウイルス感染症の治療	ウイルス感染症の治療法の総論と、他の授業では取り上げられないウイルスの治療法の各論を概説する。	小児科・森内	4講
4	25	月	抗菌薬の選択法	最新の一般抗菌薬の種類、各系統のスペクトルや副作用の特徴、典型的な適応症について学ぶ。	病態解析・診断学・柳原	4講
4	25	月	耐性菌による感染症	現在、各種領域で問題となっている耐性菌を紹介するとともに、耐性菌による感染症の発症に至る機序や治療について学ぶ。	東京医科大・松本	4講
5	2	月	不明熱と敗血症, SIRS	不明熱の3大原因の一つが感染症である。不明熱をみた場合に鑑別すべき感染症と診断法について学ぶ。	臨床感染症学・宮崎	3講
5	2	月	寄生虫感染症の診断と治療	熱帯地でみられる寄生虫感染症の疫学・病態・臨床・診断・治療・予防について体系的に説明する。	熱研・濱野	3講
5	9	月	グローバルヘルスと感染症	熱帯感染症を概説するとともに、国境を越えた課題として感染症を地球規模でとらえる視野を持たせる。	熱研内科・有吉	4講
5	9	月	マラリアの診断と治療および予防	熱帯地でみられるマラリアを中心とする原虫疾患の疫学・病態・臨床・診断方法・治療・予防について体系的に説明する。	熱研内科・有吉	4講
5	16	月	難治性感染症	問題となる難治性感染症の原因として耐性菌やバイオフィルム感染症などがあるが、具体的な疾患について学ぶ。	第二内科・西條	4講
5	16	月	熱帯でよくみる細菌感染症の診断と治療	主に熱帯地でみられる、細菌性感染症について、病態、診断、治療について解説する。	熱研内科・森本	4講
5	23	月	院内感染とその対策Ⅰ	接触感染、飛沫感染、空気感染の違いと、院内感染対策の上で重要な病原菌の病態や対処方法を学ぶ。	臨床感染症学・泉川	4講
5	23	月	院内感染とその対策Ⅱ	院内感染を防止するための理論と対策を学ぶ。	感染制御教育センター 田中	4講
5	30	月	抗酸菌感染症の診断と治療	結核症と非結核性抗酸菌症の疫学、病態と鑑別診断、さらに診断方法と標準的な治療法に関して学習する。	富山大学・山本	4講
5	30	月	院内感染対策実習	院内感染防止の具体的手順について実習する。	臨床感染症学・泉川・田代 感染制御教育センター 田中	4講
6	6	月	TBL		熱研・森本	4講
6	6	月	TBL		熱研・森本	4講
6	13	月	深在性真菌症の診断と治療	深在性真菌症の主要な病原菌、重要な基礎疾患、エビデンスに基づく抗真菌薬療法について学ぶ。	臨床感染症学・宮崎	4講
6	13	月	熱帯地方のウイルス感染症の診断と治療	熱帯地域で重要な日本脳炎、デング出血熱、西ナイル熱などの蚊媒介性ウイルス感染所の診断、治療、予防について講義する。	熱研・森田	4講
6	20	月	エイズの疫学, 自然経過, 予防	国内外のエイズ流行の動向について概説し、エイズの疫学、自然経過、予防対策の本質について学ぶ。	熱研内科・有吉	4講
6	20	月	エイズの臨床、治療	HIV感染者・エイズ患者に対する臨床的アプローチの仕方、日和見感染症の予防・治療、最新の抗HIV薬併用療法について学ぶ。	熱研内科・有吉	4講
6	27	月	性行為感染と母子感染	ヒトの再生に関わる性行為、妊娠、分娩、授乳の営みを介して起こる感染症の総論と、代表的疾患の各論を学ぶ。	小児科・森内	1講
6	27	月	人獣共通感染症	人獣共通（動物由来）感染症について、微生物の概説、伝播方式、予防策などトピックを交えながら講義する。	比較動物医学・大沢	1講
7	5	火	現代医療における易感染性宿主と日和見感染症	抗がん剤治療後のがん患者などにおける免疫不全と併発する感染症の病態生理を講義する。	原研内科・田口	4講
7	6	水	TBL		臨床感染症学・田代	4講
7	6	水	TBL		臨床感染症学・田代	4講
7	21	木	インフルエンザの臨床、治療	インフルエンザウイルス感染に関連する様々な臨床像について説明する。	第二内科・今村	4講
7	21	木	感染症の画像診断	感染症領域における画像診断のポイントを実際の症例を交えながら学ぶ。	臨床制御教育センター・山本和子	4講

臨床医学 TBL (I・II・III)

責任者	氏名	安武 亨	内線	7987
	教室	先端医育センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:30 ～ 17:30		

対象年次・学期	3 年前期・後期 4 年前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	I : 2 単位, II : 1 単位 III : 1 単位
英語名	Team Based Learning		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

チーム基盤型学習 (Team-based learning : TBL) は、各臨床系統講義終了後にまとめの意味も含んで行われる学習形態である。7～8人ずつの小グループに分かれ、大講義室で一斉に討論する。
下記に具体的な流れを記載する。

- ① 講義前に、与えられたテーマや内容に沿った事前学習を行っておく。(LACSへ課題が掲載される)
- ② 講義当日にまず事前学習内容に沿った準備確認テスト (個人⇒グループ) を行う。
- ③ テスト後の解説を受ける。
- ④ 応用問題をグループ内、グループ間で討論する。
- ⑤ まとめを行う。

このように自分の理解度を確認し、他人と知識を交換・共有することにより、より記憶に残り学習効果が増加することが分かっている。座学による受動的な学習を行った後にTBLのような能動的学習を行うことにより、学んだ知識を臨床医療に沿って利用することができるようになり、臨床実習へのステップとなることを期待する学習形態である。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

担当教官によって内容は異なる。

3. 教科書、参考書

適宜。事前学習方法・内容に関しても担当教官によって異なる。

4. 成績評価の方法・基準

出席の状況、準備確認テストの結果、討論への参加状況をもとに評価する。

5. カリキュラム

チーム編成、授業内容、担当教官等は別途。

6. 備考

7. アクティブラーニング

高次のアクティブラーニング

血 液 ・ リ ン パ 系

責任者	氏 名	宮崎 泰司	内 線	7109
	教 室	原研内科（血液内科学）	e-mail	y-miyaza@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	火曜日17時～17時30分		

対象年次・学期	3年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Hematopoietic and lymphoid system		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：骨髄とリンパ節の構造、そこで産生される造血細胞（赤血球、白血球[顆粒球・リンパ球]、血小板）の形態、機能、産生機序、および止血機構を理解する。これらの基本的理解に立って、各血液疾患、リンパ系疾患、止血・線溶機構異常による疾患の病因と病態、臨床事項について理解する。

到達目標：正常血球の認識に基づき血液細胞の産生や機能、凝固止血機構を説明できる。主要血液疾患の病因と病態、臨床事項（症状、所見、診断と治療）を説明できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

血液の構成成分、骨髄と血球産生機序を学習し、血球形態理解のために、顕微鏡実習を行う。次に赤血球の異常、造血幹細胞異常、顆粒球の異常、リンパ球および免疫細胞の異常、止血機構と出血性素因、小児の血液疾患、血液疾患の治療の各項目について講義を行う。

3. 教科書、参考書等

LACSにあらかじめ資料を提示する。各担当教官より必要に応じて資料が配布される。

書 名	著 者	出版社	定 価
講義録 血液・造血器疾患学	小澤敬也 他	メジカルビュー社	5,500 円
カラーテキスト血液病学（参考書）	木崎 昌弘 他	中外医学社	26,000 円
三輪 血液病学（参考書）	浅野茂隆 他	文光堂	45,000 円
血液専門医テキスト（参考書）	日本血液学会編集	南江堂	15,000 円
臨床に直結する血栓止血学	朝倉 英策 他	中外医学社	7,600 円

4. 成績評価の方法・基準

毎回、出席カードによる出席の確認を行う。実習ではレポートを提出する。出席率2/3以上の者は定期試験の受験資格を有する。内科・小児血液についての定期試験と実習レポートをあわせて評価する。合計60点以上を合格とする。

5. 教員名

原研内科：宮崎泰司、波多智子、今泉芳孝、田口 潤、澤山 靖、佐藤信也
小児科：森内浩幸、岡田雅彦

6. 備考（準備学習等）

LACSの資料にて予習することが望ましい。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	6	火	3	血液学総論	造血総論：血球の個体発生・造血細胞の分化と増殖	宮崎	実2
9	6	火	4	血液形態実習	末梢血：血液の成分と機能、正常末梢血液細胞	宮崎	実2
9	13	火	3	血液形態実習	骨髓：造血幹細胞と血球の分化、正常骨髓細胞	宮崎	実2
9	13	火	4				実2
9	20	火	3	赤血球系疾患（1）	赤血球総論・貧血総論・鉄欠乏性貧血・二次性貧血	澤山	4講
9	20	火	4	赤血球系疾患（2）	巨赤芽球性貧血、溶血性貧血	澤山	4講
9	27	火	3	赤血球系疾患（3）	造血障害（再生不良性貧血、骨髓異形成症候群など）	澤山	4講
9	27	火	4	白血球系疾患（1）	白血球総論	波多	4講
10	4	火	3	白血球系疾患（2）	急性白血病	波多	4講
10	4	火	4	白血球系疾患（3）	慢性骨髓性白血病、骨髓増殖性腫瘍	波多	4講
10	11	火	3	リンパ系疾患（1）	リンパ系総論、反応性リンパ系疾患	今泉	4講
10	11	火	4	リンパ系疾患（2）	悪性リンパ腫	今泉	4講
10	18	火	3	リンパ系疾患（3）	慢性リンパ性白血病、成人T細胞白血病	今泉	4講
10	18	火	4	リンパ系疾患（4）	脾疾患、血漿蛋白質の異常	今泉	4講
11	1	火	3	出血・血栓性疾患（1）	止血機構	佐藤	4講
11	1	火	4	出血・血栓性疾患（2）	血小板異常、凝固異常	佐藤	4講
11	8	火	3	出血・血栓性疾患（3）	DIC、血栓性疾患	佐藤	4講
11	8	火	4	血液疾患の治療	造血幹細胞移植	田口	4講
11	15	火	3	小児血液疾患（1）	小児貧血（溶血性貧血、Fanconi貧血など）	岡田（小児科）	4講
11	15	火	4	小児血液疾患（2）	好中球機能と先天異常、出血性素因	岡田（小児科）	4講
11	17	木	4	小児血液疾患（3）	悪性新生物（小児白血病など）	岡田（小児科）	4講
11	22	火	3	T B L	リンパ系疾患	今泉	4講
11	22	火	4				4講
11	28	月	3	T B L	赤血球系疾患	波多	4講
11	28	月	4				4講

内 分 泌 ・ 代 謝 ・ 栄 養 系

責 任 者	氏 名	川上 純	内 線	7260
	教 室	内科学第一	e-mail	atsushik@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	8:00～9:00		

対象年次・学期	3年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Endocrinology and Metabolism		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：内分泌・代謝疾患の病因、病態生理、症状・所見、検査、治療について理解する。

到達目標：代表的な内分泌・代謝疾患について病因、病態生理、症状・所見、検査、治療について説明できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

内分泌学の基本であるホルモンは特異的な内分泌腺から分泌され、血流を介して各ホルモんに特異的受容体を有する標的細胞に作用する生理活性物質と定義されています。講義ではまず、総論としてすべてのホルモんに共通した概念、作用機序、分泌調節機序を理解してもらい、次に各論として代表的ホルモンを分泌する内分泌腺（視床下部下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、性腺）別に、個々のホルモンの作用、分泌調節、さらに代表的な疾患（末端肥大症、尿崩症、バセドウ病、クッシング症候群など）および最近のトピックについて話を進める予定です。

代謝・栄養系として、栄養学ならびに糖代謝について基本的な概念を習得し、その上で、糖尿病、低血糖、高脂血症、肥満、痛風などの疾患を講義します。糖尿病はインスリン分泌および作用の不足の結果、高血糖を生じますが、慢性的な高血糖が持続しますと糖尿病に特有な腎症・網膜症・神経障害などの合併症を生じます。最初に、糖尿病の分類、診断、糖尿病合併症および糖尿病の治療について講義します。また、トピックとしていくつかの遺伝子異常による糖尿病や、新しい糖尿病治療薬などについてふれます。

高脂血症とは血中脂質（コレステロール、中性脂肪）が増加した状態であり、動脈硬化性疾患（心筋梗塞、狭心症）の主な危険因子です。まず最初にリポ蛋白代謝について説明し、次に高脂血症の分類、動脈硬化の発生機序、メタボリック症候群について講義します。

外科分野として、乳癌や乳腺良性疾患および甲状腺癌、バセドウ病、副甲状腺機能亢進症などの外科治療を中心に基礎的な知識や最新のトピックスについて触れていきます。また乳癌に関しては分子標的治療薬を含めた薬物療法についても講義します。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
NIM LECTURE:内分泌・代謝病学	井村裕夫・清野 裕 編	医学書院	7,500 円
CECIL TEXTBOOK OF MEDICINE (23rd ed)	Arend, Armitage Clemmons 他 編	W. B. Saunders company	

Harrison`s PRINCIPLES of INTERNAL MEDICINE (17th ed)	Fauci, Kasper, Longo Braunwald 他 編	Mc Graw-Hill	
Williams textbook of Endocrinology (11th ed.)	Kronenberg, Melmed, Polns ky Larsen 他 編	Saunders	
標準外科学 (第13版)	監修: 加藤 治文	医学書院	

4. 成績評価の方法・基準

定期考査 100%

筆記試験において60点以上を合格とする。

5. 教員名

第一内科: 阿比留教生、安藤隆雄、森良孝、堀江一郎、原口 愛

生活習慣病予防診療部: 世羅至子

国際ヒバクシャ医療センター: 宇佐俊郎

医育支援センター: 桑原宏永

保健・医療推進センター: 古林正和、相良郁子

腫瘍外科: 矢野洋

移植・消化器外科: 山之内孝彰

栄養管理室: 花田浩和

6. 備考 (準備学習等)

教科書・参考図書にて予習しておくことが望ましい。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	5	月	3	内分泌総論	ホルモン作用機序・疾患総論	第一内科 安藤	3講
9	5	月	4	甲状腺	甲状腺総論		3講
9	9	金	2	代謝・栄養学	栄養学	栄養管理室 花田	3講
9	9	金	3	視床下部・下垂体	視床下部・下垂体後葉疾患	第一内科 安藤	3講
9	9	金	4		下垂体前葉疾患		3講
9	12	月	3	糖尿病	糖代謝総論	第一内科 阿比留	3講
9	12	月	4		糖尿病の分類と診断		3講
9	16	金	3	糖尿病	糖尿病昏睡・急性合併症	医育支援センター 桑原	3講
9	16	金	4	痛風	核酸代謝・高尿酸血症・低血糖	第一内科 森	3講
9	23	金	3	甲状腺	甲状腺機能亢進症	第一内科 世羅	3講
9	23	金	4		甲状腺機能低下症		3講
9	26	月	3	糖尿病	糖尿病の治療	第一内科 阿比留	3講
9	26	月	4				3講
9	30	金	3	副腎	副腎皮質疾患	第一内科 原口	3講
9	30	金	4		副腎髄質疾患		3講
10	3	月	3	甲状腺	甲状腺腫瘍	第一内科 堀江	3講
10	3	月	4	カルシウム代謝	高・低カルシウム血症・代謝性骨疾患	保健・医療推進センター 相良	3講
10	17	月	3	乳腺・内分泌	甲状腺外科	移植消化器外科 山之内	3講
10	17	月	4	乳腺・内分泌	乳腺外科	腫瘍外科 矢野	3講
10	24	月	3	糖尿病	糖尿病の慢性合併症	保健・医療推進センター 古林	3講
10	24	月	4	性腺・消化管ホルモン	性分化異常症・消化管ホルモン産生腫瘍	第一内科 堀江	3講
10	31	月	3	脂質異常症	リポ蛋白代謝・分類、治療	非常勤講師 山崎	3講
10	31	月	4	肥満	分類・成因・治療、メタボリックシンドローム		3講
11	7	月	3	TBL	代謝疾患	第一内科 森・阿比留	4講
11	7	月	4				4講
11	14	月	3	TBL	内分泌疾患	第一内科 堀江	4講
11	14	月	4				4講

免疫・アレルギー疾患系

責任者	氏 名	川上 純	内 線	7260
	教 室	内科学第一	e-mail	atsushik@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日の午後		

対象年次・学期	3年・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Immunology and Allergy		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

免疫・アレルギー疾患、特にリウマチ・膠原病の病態・診断・治療について講義する。リウマチ・膠原病の分野は病態解析、診断技術、治療法の進歩が著しい分野である。これら疾患群の共通所見、疾患特異的所見および病態に応じた治療法の選択などを学んでほしい。内容は各疾患を講義した後に、これら疾患群の理解に重要な臓器病変や治療のまとめおよび最近のトピックスも授業する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義主体（スライドとシラバス）

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版者	定価
シラバス	講義担当者		
膠原病・リウマチ診療	東京女子医科大学附属 膠原病リウマチ痛風センター	MEDICAL VIEW	9500 円
膠原病学(改訂第6版)	塩沢 俊一	丸善	16200 円
膠原病診療ノート第3版	三森 明夫	日本医事新報社	5800 円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験の点数 60%以上で合格とする。

5. 教員名

第一内科 : 川上 純、中村英樹、一瀬邦弘、岩本直樹

保健学科 : 折口智樹

第二内科 : 西野友哉、角川智之

皮膚科 : 鋤塚さやか

非常勤講師: 井田弘明（久留米大学医学部呼吸器・神経・膠原病内科教授）

右田清志（国立病院機構長崎医療センター）

6. 備考（準備学習等）

シラバスに目を通しておくこと。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	9	金	1	総論1	自己免疫、リウマチ性疾患総論	第一内科：川上	3講
9	16	金	1	各論1	全身性エリテマトーデス	第一内科：一瀬	3講
9	16	金	2	各論2	強皮症、シェーグレン症候群	第一内科：中村	3講
9	23	金	1	総論2	リウマチ膠原病の主要徴候、臨床検査	非常勤講師：右田	3講
9	23	金	2	各論3	多発性筋炎／皮膚筋炎 混合性結合組織病	第一内科：川上	3講
9	30	金	1	各論4	脊椎関節炎／ベーチェット病	非常勤講師：右田	3講
9	30	金	2	各論5	関節リウマチの病態	非常勤講師：井田	3講
10	7	金	1	各論6	その他のリウマチ性疾患、類縁疾患	第一内科：岩本	3講
10	7	金	2	各論7	関節リウマチの治療 成人発症ステイル病	保健学科：折口	3講
10	14	金	1	各論8	血管炎症候群	保健学科：折口	3講
10	14	金	2	リウマチ性疾患の治療	リウマチ性疾患の治療	第一内科：中村	3講
10	21	金	1	リウマチ性疾患の腎病変	リウマチ性疾患と腎	第二内科：西野	3講
10	21	金	2	膠原病の皮膚症状	膠原病の皮膚症状	皮膚科：鋤塚	3講
10	28	金	1	リウマチ性疾患の病因	診断、治療、病態：最近のトピックス	第一内科：川上	3講
10	28	金	2	リウマチ性疾患の肺病変	リウマチ性疾患と肺	第二内科：角川	3講
11	4	金	1	免疫・アレルギー系 TBL		第一内科：岩本	4講
11	4	金	2				4講

腎 泌 尿 器 系

責任者	氏 名	酒井英樹	内 線	7340
	教 室	腎泌尿器病態学（泌尿器科学）	e-mail	hsakai@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:00～17:00（火曜日）泌尿器科医局		

対象年次・学期	3 年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Nephro-urology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：小児から高齢者まで、すべての年齢層を対象にした腎・尿路系疾患の病態、診断および治療を理解する。

方法：生理学、腎臓内科学、小児科学、泌尿器科学の各分野が分担して講義を行う。

到達目標：1) 腎・泌尿器の構造と機能を理解し、異常所見を識別できる一特に腎の生理と排尿の生理を理解することが重要である。2) 腎・泌尿器系疾患の主要症候を理解し、鑑別疾患を挙げることができる。3) 腎・泌尿器系の検査法を理解し、診断へ応用できる。4) 各疾患の治療法を概説できる。また、小児と成人の差違、内科的あるいは外科的治療の差違について説明できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

体液の恒常性維持における腎の機能について学び、腎・泌尿器系疾患の病態、症候、検査、診断および治療について系統的に講義する。この系で学ぶ主要な疾患は、腎不全、糸球体疾患、ネフローゼ症候群、尿細管間質病変、高血圧・腎血管病変、全身性疾患に合併した腎病変、小児の腎疾患、外科的処置が必要な腎・尿路系疾患（腫瘍、結石、外傷）、排尿障害、尿路感染症である。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
エッセンシャル腎臓内科学	富野康日己 編	医歯薬出版	5,000 円
ダイナミックメディスン6巻	下条文武・斉藤康	西村書店	3,800 円
講義録 泌尿器科学	荒井陽一 小川 修 編	メジカルビュー	6,000 円
Smith's General Urology	Emil Tanagho	Lange	8,000 円
病気が見える腎・泌尿器		医療情報科学研究所	3,564 円
Renal disease:classification and atlas of glomerular disease.	Churg/Bernstain/ Glassock	IGAKU/SHOIN	23,900 円
小児腎臓病学	日本小児腎臓病学会編	診断と治療社	10,290円
図解腎臓内科学テキスト	富野康日己 編	中外医学社	7,600円

4. 成績評価の方法・基準

前期末に筆記試験を行う。各分野の配点は、小児科 10 点、腎臓内科 45 点、泌尿器科 45 点とし、合計 60 点以上を合格とする。

5. 教員名

病態生理制御学（腎臓内科）：西野友哉、小畑陽子、浦松 正、牟田久美子、太田裕樹
 血液浄化療法部：錦戸雅春、北村峰昭
 展開医療科学（小児科）：森内浩幸、白川利彦
 腎泌尿器科学（泌尿器科）：酒井英樹、宮田康好、望月保志、木原敏晴、松尾朋博、井川掌（久留米大）

6. 備考（準備学習等）

腎・尿路系の解剖、生理、病理学について復習しておくこと。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	7	水	3	腎・泌尿器系	腎・泌尿器系 イントロダクション	泌尿器科・酒井	4講
9	7	水	4	内科的腎疾患	臨床総論；腎臓の構造・機能、腎疾患の主要症候	腎臓内科・西野	4講
9	14	水	3	内科的腎疾患	腎疾患の検査（検尿異常、腎機能検査）	腎臓内科・太田	4講
9	14	水	4		尿細管間質疾患		4講
9	21	水	3	内科的腎疾患	糸球体腎炎	腎臓内科・浦松	4講
9	21	水	4		ネフローゼ症候群		4講
9	28	水	3	内科的腎疾患	二次性腎障害（代謝性疾患、薬剤、妊娠と腎など）	腎臓内科・牟田	4講
9	28	水	4		総括①		4講
10	5	水	3	内科的腎疾患	慢性腎不全、CKD、CKD-MBD（Ca、P代謝）、透析と血液浄化療法	腎臓内科・北村	4講
10	5	水	4		急性腎不全、AKI		4講
10	12	水	3	内科的腎疾患	電解質異常（水、Na異常）	腎臓内科・小畑	4講
10	12	水	4		電解質異常（酸塩基異常）		4講
10	19	水	3	内科的腎疾患	総括②	腎臓内科・太田	4講
10	19	水	4	泌尿器科疾患	泌尿器科学総論：解剖・生理	泌尿器科・宮田	4講
10	26	水	3	泌尿器科疾患	泌尿器科学総論：症候・検査法	泌尿器科・宮田	4講
10	26	水	4		尿路性器外傷		4講
11	2	水	3	小児の腎疾患	先天性腎疾患、先天性尿細管疾患	小児科・森内（白川）	4講
11	2	水	4		腎尿路奇形、後天性腎疾患、腎不全		4講
11	9	水	3	泌尿器科疾患	腎腫瘍、腎血管性病変	血液浄化・錦戸	4講
11	9	水	4		腎不全、腎移植、腎不全外科		4講
11	11	金	3	泌尿器科疾患	性機能障害	泌尿器科・宮田	4講
11	11	金	4		小児泌尿器疾患	泌尿器科・木原	4講
11	16	水	3	泌尿器科疾患	尿路結石	泌尿器科・井川（久留米大学）	4講
11	16	水	4		排尿機能障害	泌尿器科・松尾	4講
11	18	金	3	内科的腎疾患	腎臓内科TBL	腎臓内科・浦松	4講
11	18	金	4				4講
11	21	月	3	泌尿器科疾患	膀胱疾患、尿路上皮腫瘍	泌尿器科・宮田	4講
11	21	月	4		炎症性疾患	泌尿器科・酒井	4講
11	25	金	3	泌尿器科疾患	泌尿器科TBL	泌尿器科・望月	4講
11	25	金	4				4講

生殖系

責任者	氏 名	増 崎 英 明	内 線	7361
	教 室	産科婦人科学	e-mail	bunbuku@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月～金 17:00～17:30		

対象年次・学期	3年・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Reproductive Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

(ねらい) 男女の生殖器の解剖、生理および病理について系統的に理解するのがねらいである。

(到達目標) 男性生殖器、女性生殖器の解剖、発生およびその異常について説明できる。男性不妊症や主な男性生殖器疾患について説明できる。女性の性周期、妊娠成立のしくみ、不妊症および不育症について説明できる。正常妊娠・胎児・分娩の経過およびその異常としてのハイリスク妊娠・分娩について説明できる。主な女性生殖器疾患について説明できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義時間は66時間（44コマ）であり、その内訳は、第三解剖1.5時間（1コマ）、泌尿器科4.5時間（3コマ）、産婦人科54時間（36コマ）およびIBL6時間（4コマ）である。

3. 教科書、参考書等

	著 者	出版社	定 価
ムーア人体発生学	Moore, Persaud	医歯薬出版	9,500 円
新泌尿器科学	内藤誠二	南山堂	8,700 円
標準産科婦人科学	岡井 崇 他編	医学書院	8,610 円
臨床産科超音波診断 改訂2版	増崎英明	メディカ出版	7,800 円

4. 成績評価の方法・基準

出席点および筆記試験により評価する。筆記試験問題は担当教員が分担して作成する。原則として60%以上の得点をもって合格とする。

5. 教員名

第三解剖 : 小路武彦
泌尿器科 : 酒井英樹
産婦人科 : 増崎英明、三浦清徳、金内優典、吉田 敦、北島道夫、増崎雅子、嶋田貴子、長谷川ゆり、濱口大輔、北島百合子、谷口憲、原田亜由美

非常勤講師: 吉村泰典 (元慶應義塾大学) 梶原久司 (大分大学)
片渕秀隆 (熊本大学) 藤森敬也 (福島県立医大)
村上 誠 (佐世保市立総合病院) 藤下 晃 (済生会長崎病院)
中山大介 (佐世保市立総合病院) 小寺宏平 (長崎市立市民病院)
中島久良 (長崎市立市民病院) 江口二郎 (佐世保共済病院)

6. 備考（準備学習等）

とくになし。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	6	火	1	イントロダクション	産婦人科学について	産婦人科・増崎	3講
9	6	火	2	性分化と性器の発生	性器の発生、性分化異常	解剖3・小路	3講
9	7	水	1	不妊(1)	性分化異常／男性不妊症	非常勤・江口	3講
9	7	水	2	女性の性機能	性機能系のホルモン／視床下部-下垂体-卵巢系／性器の周期的変化	産婦人科・北島百	3講
9	13	火	1	婦人科腫瘍の病因学	ノーベル生理医学賞と子宮頸癌予防HPVワクチン	非常勤・片渕	3講
9	13	火	2	外陰・膣の疾患(1)	外陰・膣の炎症／性感染症／骨盤内炎症性疾患(PID)	産婦人科・嶋田	3講
9	14	水	1	男性生殖器の疾患(1)	前立腺癌／前立腺肥大症	泌尿器科・酒井	3講
9	14	水	2	男性生殖器の疾患(2)	精巣腫瘍／陰茎腫瘍	泌尿器科・酒井	3講
9	20	火	1	女性性器の構造	女性性器の構造／産婦人科診察	非常勤・藤下	3講
9	20	火	2	女性性器の異常	形態異常／位置異常／損傷と瘻	非常勤・藤下	3講
9	21	水	1	子宮の疾患(1)	子宮筋腫／子宮内膜症／子宮腺筋症	産婦人科・原田	3講
9	21	水	2	子宮の疾患(2)	子宮頸管ポリープ／子宮頸部異形成／子宮頸癌	非常勤・中島	3講
9	27	火	1	月経	月経周期・排卵の調節機構	非常勤・檜原	3講
9	27	火	2	不妊(2)	不妊症-生殖補助技術の光と陰	産婦人科・谷口	3講
9	28	水	1	付属器の疾患(1)／子宮の疾患(3)	卵巢腫瘍・類腫瘍病変／子宮内膜増殖症・子宮体癌	産婦人科・金内	3講
9	28	水	2	外陰・膣の疾患(2)	外陰癌／膣癌	非常勤・村上	3講
10	4	火	1	付属器の疾患(2)	卵巢癌・卵管癌	非常勤・小寺	3講
10	4	火	2	妊娠の生理(1)	生命のはじまり-受精と着床／胚形成と胎盤形成	産婦人科・北島	3講
10	5	水	1	婦人科手術	エキスパートが教える婦人科手術の種類とその特徴	産婦人科・金内	3講
10	5	水	2	加齢と疾患	更年期障害／老年期障害	産婦人科・北島	3講
10	11	火	1	妊娠の生理(2)	胎児の発育／胎児-胎盤系の生理／妊娠による母体の変化	産婦人科・濱口	3講
10	11	火	2	女性医学	女性の不定愁訴／漢方	産婦人科・増崎雅	3講
10	12	水	1	医療倫理	生殖医療と生命倫理	非常勤・吉村	3講
10	12	水	2	正常分娩(1)	分娩の概念／陣痛初来機序／分娩の3要素／分娩機転	産婦人科・北島百	3講
10	18	火	1	妊娠の異常(1)	妊娠悪阻／流産／不育症／子宮外妊娠	非常勤・藤下	3講
10	18	火	2	正常分娩(2)	正常分娩の経過と管理／産褥期／新生児	産婦人科・谷口	3講

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	19	水	1	難産	陣痛の異常／児頭骨盤不均衡（CPD）／胎位・胎向・胎勢の異常	産婦人科・嶋田	3講
10	19	水	2	妊娠の異常（2）	早産と前期破水	産婦人科・吉田	3講
10	26	水	1	産科処置	産科手術／分娩誘発・促進／産科麻酔	産婦人科・濱口	3講
10	26	水	2	妊娠の異常（3）	妊娠中の高血圧	産婦人科・吉田	3講
11	1	火	1	胎児機能不全	胎児心拍数陣痛図（CTG）の読み方	非常勤・藤森	3講
11	1	火	2	妊娠の異常（4）	産科出血／産科ショックとDIC－産科救急の対処法	産婦人科・原田	3講
11	2	水	1	妊娠の異常（5）	多胎妊娠	産婦人科・三浦	3講
11	2	水	2	妊娠の異常（6）	絨毛性疾患／胎児発育遅延（FGR）	産婦人科・北島百	3講
11	8	火	1	先天異常	先天異常／遺伝／出生前診断／胎児治療	非常勤・中山	3講
11	8	火	2	妊娠の異常（7）	羊水過多症／羊水過少症／胎盤・臍帯の異常	産婦人科・長谷川	3講
11	9	水	1	妊娠の異常（8）	妊娠と感染／周産期感染症	産婦人科・嶋田	2講
11	9	水	2	合併症妊娠（1）	内分泌・代謝／自己免疫／精神神経疾患	産婦人科・長谷川	2講
11	15	火	1	TBL（1）	婦人科腫瘍	産婦人科・金内	4講
11	15	火	2	TBL（2）	周産期 1	産婦人科・吉田	4講
11	16	水	1	産婦人科の遺伝	胎児／妊婦／がんに関する遺伝	産婦人科・三浦	3講
11	16	水	2	合併症妊娠（2）	婦人科／心血管／血液／腎・泌尿器／消化器／呼吸器疾患	産婦人科・長谷川	3講
11	28	月	1	TBL（3）	周産期 2	産婦人科・三浦	4講
11	28	月	2	TBL（4）	生殖内分泌	産婦人科・北島	4講

小 児 系

責任者	氏 名	森 内 浩 幸	内 線	7298
	教 室	小児科学	e-mail	hiromori@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:00 - 18:00 / Tel095-819-7298		

対象年次・学期	3 年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Pediatrics & Pediatric Surgery		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：ヒトが胎芽期、胎児期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期を駆け抜けながら刻々と成長発達していく過程における生理と病理を、内科的および外科的な観点から学んでいく。『小児は大人を小さくしたものではない』ことを理解してもらう。

到達目標：正常発達過程を理解することができる。小児の特異性を身体的・精神的・社会的側面から理解することができる。成長発達していく過程で生じる主な内科的・外科的疾患の病態生理・臨床的特徴・診断法・予防法・治療法を覚える。（小児科総括講義と併せて）小児患者に対する症候学的アプローチの基礎を習得し、小児科臨床実習を行うにあたって必要な臨床知識を整理することができる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

概要：オムニバス形式で小児の正常発達、（他の系で取り上げられていない）小児内科的疾患、小児外科的疾患、小児形成外科的疾患、小児歯科学を講義する。

3. 教科書、参考書等

先天奇形症候群アトラス	梶井・黒木・新川 編	南江堂
標準小児外科学	鈴木・横山・岡田 編	医学書院
標準形成外科学	秦・野崎 編	医学書院

（注：小児科に関しては、特に指定しない。必要な資料は適宜配布または紹介する。）

4. 成績評価の方法・基準

定期考査（95%）によって、主な小児疾患の病態生理・臨床像・診断・予防・治療法の理解と習得できた知識のレベルを評価する。レポート（5%）によって、小児の成長発達に関する理解度を評価する。

5. 教員名

森内浩幸、木下史子、橋本邦生（小児科）；田浦康明（外科1）；小坂太一郎（外科2）；矢野浩規（形成外科）；【非常勤講師】本村克明（長崎市保健所）、藤原 卓（歯学部）；近藤達郎（みさかえの園）；平松公三郎（みさかえの園あゆみの家）；本山和徳、小柳憲司（長崎県立こども医療福祉センター）

7. 備考（準備学習等）

小児の疾患については他の多くの系の授業の中でも取り上げられており、それらを総合して始めて小児の疾患を網羅的に学ぶことができる。小児系とこれらの系の関連講義で学んだことを相互に連結されるように予習・復習する。

8. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	8	木	3	総論・成長・発達・育児	総論・成長・発達・育児：乳幼児期は感受性が高く、両親から多くを学び、親子が共に急速に成長する時期である。妊娠・出産・子育てを理解し、人生で最も大事な時期を医師として如何に支援していくかを学ぶ。	森内（小児科）	4 講
9	8	木	4				4 講
9	15	木	3	新生児	新生児期は胎児期から乳児・小児期への移行期にあたり、特殊な生理・病態を呈する。胎児・新生児の生理をよく理解してもらった上で、早産に代表されるハイリスク新生児の病態や疾患について解説する	木下（小児科）	4 講
9	15	木	4				4 講
9	29	木	3	呼吸器・アレルギー・免疫	①小児気管支喘息の病態生理・診断・重症度分類・治療（急性発作への対応、長期管理の為に薬物療法）、②食物アレルギーの臨床型分類・診断・治療・予防、③アナフィラキシーの定義・対応を学ぶ。④小児期に発症する自己免疫疾患を習得する。	橋本（小児科）	4 講
9	29	木	4				4 講
10	6	木	3	内分泌・代謝・栄養	小児の成長の特性について理解するとともに、発達期の栄養と内分泌代謝疾患の概要を把握する。	本村（非常勤：長崎市保健所）	4 講
10	6	木	4				4 講
10	13	木	3	先天異常・遺伝	メンデル遺伝、多因子遺伝、ミトコンドリア遺伝、染色体異常、後成的修飾による疾患を各々概説し、遺伝性疾患患者がおかれている諸問題及びそれに対しての遺伝カウンセリングについて論じる。	近藤（非常勤：みさかえの園）	4 講
10	13	木	4				4 講
10	20	木	3	小児心療内科	小児の心と身体に関わりについて学ぶ。小児の心身症、行動障害、不登校など、心身医学的配慮が必要な病態と、その対応について理解する。	小柳（非常勤：長崎県立こども医療福祉センター）	4 講
10	20	木	4	感染症	小児の免疫学的特徴を理解し、種々の病原体の疫学と生態学を知り、小児における主な感染症を学ぶ。	森内（小児科）	4 講
10	25	火	3	小児外科（1）	顔面・頸部、胸部（胸壁・肺・気管・縦隔・横隔膜・乳腺・食道）、消化管（胃・十二指腸・空回腸・結腸・直腸）疾患の発生、病態、診断、治療について理解する。	小坂（第2外科）	4 講
10	25	火	4				4 講
10	27	木	3	小児形成外科	顔面・手の発生と様々な先天異常、および発達中の小児における治療とその影響について講義する。	矢野（形成外科）	4 講
10	27	木	4	前半：療育医療	医療を要する重度重複障害児の存在を認識し、命を支え障害と共に生きるために必要な医療について理解する。	平松（非常勤：国立病院機構長崎病院）	4 講
				後半：小児歯科	①口腔や歯に影響を及ぼす疾患や薬剤について、②齲蝕原性細菌の伝播と齲蝕の発生メカニズムについて	藤原（非常勤：歯学部）	
11	10	木	3	小児外科（2）	肝胆膵・腹壁・移植・腫瘍（特に胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症）、腹壁形成異常（臍帯ヘルニア、腹壁破裂）、鼠径ヘルニア、臍ヘルニア、小児の移植、小児固形腫瘍と集学的治療について概説する。	田浦（第1外科）	4 講
11	10	木	4				4 講
11	17	木	3	発達障害	発達障害の概念、医療的対応について述べ、児の早期発達支援ならびに家族支援の重要性を学ぶ。	本山（非常勤：長崎県立こども医療福祉センター）	4 講
11	24	木	3	TBL		森内（小児科）	4 講
11	24	木	4				4 講

放 射 線 医 学

責任者	氏 名	上 谷 雅 孝	内 線	7353
	教 室	放射線医学（放射線診断治療学）	e-mail	uetani@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午前10時～12時		

対象年次・学期	3年・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Radiology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標 と 2. 授業内容

放射線医学は、放射線診断学、核医学および放射線治療学から成り立っている。放射線診断学には、胸部、消化器、循環器、骨軟部、泌尿器、脳神経などの疾患の診断が含まれ、診断法としては単純X線撮影、種々の造影X線検査、超音波検査、CT、MRIなどがある。これらの中には放射線を用いないものも含まれ、画像診断と呼ばれることも多い。本講義では、各種診断法及び核医学検査の基本的な原理、正常像および代表的な疾患の異常像を学び、また放射線治療の原理と基本的な技術および適応について学ぶ。到達目標は、国家試験レベルの代表的疾患の画像診断ができるようになること、および放射線治療の適応・方法についての理解である。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
標準放射線医学 第7版	西谷 弘 他編	医学書院	10,500円
画像診断を学ぼう 単純写真とCTの基本	Hering W 著、江原 茂訳	メディカルサイエンス・インターナショナル	6,800円
スクワイア放射線診断学	Novelline RA著、藤原卓哉訳	羊土社	8,400円
新版胸部単純X線診断	林 邦昭、中田 肇 編	秀潤社	4,800円
胸部単純X線アトラス	芦澤和人 編著	ベクトル・コア	4,500円

4. 成績評価の方法・基準

4年時学年末試験にて60%以上の得点率にて合格とする。

5. 教員名

放射線科：上谷雅孝、坂本一郎、森川 実、末吉英純、林 秀行、石丸英樹、西田暁史、瀬川景子、井手口怜子
先端医育センター：江川亜希子
臨床腫瘍学：芦澤和人
原研アイソトープ診断治療学：工藤 崇
非常勤講師：松永尚文（山口大学医学部放射線科）

6. 備考（準備学習等）

画像診断や放射線治療の理解は、各疾患の病態生理・病理学等の理解が基本となる。これまで学習してきた各臓器・領域の主な疾患について復習しておいてほしい。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	20	木	1	骨・関節（1）	上谷	4講
10	20	木	2	腹部（1）	林	4講
10	25	火	1	腹部（2）	西田・石丸	4講
10	25	火	2	脳神経（1）	森川	4講
10	27	木	1	脳神経（2）	井手口	4講
10	27	木	2	放射線治療（1）	江川	4講
11	17	木	1	放射線治療（2）	山崎	4講
11	17	木	2	乳腺	瀬川	4講
11	18	金	1	胸部（1）	芦澤	4講
11	18	金	2	胸部（2）	芦澤	4講
11	22	火	1	血管造影・IVR	坂本・末吉	4講
11	22	火	2	核医学（1）	工藤	4講
11	24	木	1	核医学（2）	工藤	4講
11	24	木	2	心・大血管	松永（山口大学）	4講

プレリサーチセミナー

責任者	氏 名	柳原 克紀	内 線	7574
	教 室	臨床検査医学（病態解析・診断学）	e-mail	k-yanagi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月～金曜日の17:00～18:00		
対象年次・学期		1年～3年：通年	講義形態	担当教員が講義形態を決定する。
必修・選択		必修 (研究医枠及び熱帯医学研究医枠)	単位数	各1単位
英語名		Pre research seminar		

1. 授業のねらい・目標

基礎医学を担う研究者の育成により卓越した教育及び研究成果を社会に還元することは医学部の使命である。基礎教室配属による少人数教育により基礎科学に必須の基礎的学力や柔軟な応用力を身につけ、科学的思考により問題を解決できる将来の医療人を養うことを目標とする。

2. 配属教室の選択方法

配属教室は、2年次前期終了後に、科目責任者と相談のうえ、仮配属として決定し、3年次のプレリサーチセミナー及びリサーチセミナーで本配属とする。

また、リサーチセミナーの海外実習については、配属教室と相談のうえ、派遣学生としての応募を可能とする。

3. 配属教室

医学部基礎系、熱帯医学研究所及び原爆後障害医療研究所の各教室

4. 授業内容等

1年次：論文研究（ゼミ形式）と各教室研究内容の紹介セミナー

2年次前期：先導生命科学研究支援センター及び共同利用研究センターにおいて、研究医実習を行う。

2年次後期～3年次：配属教室において、研究テーマ・目標を設定し実験を行う。

5. 成績評価の方法・基準

1年次：出席状況及び課題レポート等により総合判断で評価する。

2年次：出席状況及び課題レポート等により総合判断で評価する。

3年次：配属教室での活動、研究成果に基づき配属先の担当教員が100点満点で評価する。

6. 指導教員など

医学部基礎系教室等の教員

7. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。

8. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

リサーチセミナー

責任者	氏名	福岡順也	内線	7053
	教室	臨床病理学	e-mail	fukuokaj@nagasaki-u.ac.jp
	オフィス			
対象年次・学期		3年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択		必修	単位数	11.5
英語名		Research Seminar		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

有能な医師になる為には、基礎研究を理解し、実施する能力が必須である。医学はまだ発展途上にあり、有能な医師は、その発展の一端を担える能力、研究成果の是非を判断する能力を習得しなければならない。現在、専門医の重要性が強調される裏側で、研究に対する意識が薄らぐ傾向にあると言えるが、リサーチセミナーでは、研究の実践を通じて「医学」が「科学」としていかに発展するかというプロセスを学ぶ。セミナー期間中は、熱帯医学研究所・原爆後遺症医療研究所を含む基礎系教室で終日研究活動に従事し、配属先の基礎医学系教員とマンツーマンの指導を受け、研究背景を学術論文から理解し、研究計画書を作成して実践し、研究結果をまとめ、発表および討論を行う能力を身につけることを目標とする。なお合同発表会は、可能な限り一般公開する。

2. 期間

平成29年1月4日（水）から2月24日（金）

研究報告書は学務係まで提出すること。（締め切り3月1日（水））

3. 研究テーマの選択方法

1. 各教室から研究テーマ、そのテーマを指導する責任教官名とそのテーマに従事する学生数が公示される。
2. 各学生は希望する教室とテーマを1つ選択して提出する。
3. この時点で学生自身がテーマを提案してもよい。その場合にはそのテーマについて指導することを承諾する講座を必要とする。
4. 各研究テーマの定員を超過した場合には、学生間の抽選により決定する。
5. 抽選にもれた学生は、定員に満たないテーマの中から、テーマを1つ選択して提出する。
6. 全学生が何れかのテーマに属するまで上記4. と5. の操作を繰り返す。

4. リサーチセミナー履修の認定の条件

1. セミナー開始時にオリエンテーション（総合オリエンテーション、実験動物についての講義）、必要な動物実験施設やアイソトープ実験施設の使用に関する説明会に出席していること。
2. 研究活動に200時間以上に従事していること。
3. 研究報告書（A4のフォーマットを準備）を学務係へ提出すること。（〆切り3月1日）
（ワープロまたはボールペン書きのものに限る。鉛筆書きは不可）
4. 実際の研究記録は配属教室の指導責任者に提出すること。配属教室ではリサーチセミナー終了時に発表会を開き、研究記録とともに評価をしてもらう。指導教官はこの評価をリサーチセミナー責任者に提出する。（〆切り3月1日）
5. 今年度5月に開催される「リサーチセミナー合同発表会」に出席していること。
6. 翌年度に開催される「リサーチセミナー合同発表会」に出席し、発表・討論を行うこと。

5. 指導講座等

医学部及び熱帯医学研究所・先端生命科学研究支援センターの基礎系講座。

6. 成績評価の方法・基準

研究報告書・担当教官の評価・発表会の評価から総合的に評価する。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

English for International Medicine

Instructors: Luc Loosveldt/Jim Briganti

Class Time : to be decided

E-mail: lluc@nagasaki-u.ac.jp

Office Hours: to be announced in class

Course Objectives	
This course is designed for students interested in careers in international medicine. Focus will be on developing relevant and effective communication techniques, building fluency in spoken and written English, and reinforcing critical thinking skills in English. A range of materials will be introduced to discuss global health issues. Students will be asked to research and introduce their own materials in class to show their understanding.	
Required Textbooks	
A range of materials will be used to introduce global health issues for discussion.	
Topics	
1	First topic - pre-discussion, useful vocabulary and phrases, assignment of group roles
2	Small group discussion of readings - preparation of introductory presentation
3	Short presentations with Q&A
4	In-group review of short presentations + choosing the next topic
5	Small group discussion of readings - preparation of second short presentation
6	Short presentations with Q&A
7	In-group review of short presentations + choosing the next topic
8	Small group discussion of readings - preparation of third short presentation
9	Short presentations with Q&A
10	In-group review of short presentations + choosing the next topic
11	Small group discussion of readings - preparation of fourth short presentation
12	Short presentations with Q&A
13	Choosing the topic for the final presentation, preparing the poster
14	Review of the poster + practice sessions
15	Final poster presentations + evaluations and review of performance
Course work and Evaluation	
Students will be evaluated on the basis of classwork, assignments, group work, group presentation, on-line forum participation, written assignments, and review tests. A detailed breakdown of the evaluation process will be provided in class.	
<i>*The above syllabus is meant as a general guide, not a definite time table.</i>	

医学ゼミ

責任者	氏 名	柳原 克紀	内 線	7574
	教 室	臨床検査医学（病態解析・診断学）	e-mail	k-yanagi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月～金曜日の17:00～18:00		

対象年次・学期	1年：前期、後期 2年：前期、後期 3年：前期 4年：前期	講義形態	担当教員が講義形態を決定する。
必修・選択	必修	単位数	前期、後期各1
英語名	Small group medical seminar		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

必修選択の科目であり、各科目10名前後の少人数教育を行う。自らが特に学習したい分野を選択し、その分野についてコアとなる教科内容を越えて特定の内容を深く掘り下げる学習を行う。当該分野の医学・科学に対する探求心・問題解決能力の育成と、より深い理解を目指す。少人数で担当教員との双方向性の授業を行うことにより教官と親しく交流すると共に、1年次から4年次まで学年間の壁を越えて共に学ぶ環境を提供する。AO学生は、医学ゼミを通して当該領域の知識を深める。

2. 授業科目の選択方法

- 各開講科目について、教育目標、授業内容、担当教員、開講場所、開講時間帯等を公示する。
- 各学年開始前に、前期・後期別に受講希望科目を学務係に提出する（第3希望まで）。
- 第1希望を優先し、各科目へ学生の割り振りを行う。

3. 教科書、参考書等

担当教員が提示する。

4. 成績評価の方法・基準

1、2年次前期・後期、3年次前期、4年次前期に開講する。3年次への進級には2年次で1単位以上、4年次への進級には3年次までに2単位以上、5年次への進級には4年次までに3単位以上修得する必要がある。卒業のための最低修得単位数は3単位である。

5. 指導教員など

医学科、熱帯医学研究所、先導生命科学研究支援センター教員

6. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを加味する。

平成28年度「医学ゼミ」開講テーマ一覧(3年生)

教室	責任者名	ゼミテーマ(サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	開講時間	場所	評価方法	備考
組織解剖 (第三解剖)	小路 武彦	ビデオで学ぶ組織発生	発生学・組織実習で得た知識を深めることを目的とする。	日本語の動画教材を用い、発生学から疾患への理解を深める。各回組織発生に関するDVDを鑑賞の後、グループ討論を行う。	2年前期 3年前期	金曜日1校時	小会議室	出席、レポートを総合的に評価。	
医科薬理学	有賀 純 中川 慎介 巽 理恵 畑山 実	最新の論文から探る医学 生物学研究の潮流	トップジャーナルに掲載された脳神経、血管、幹細胞に関する論文の学術的な背景や意義を理解して、最新の研究動向を把握し、今後の研究戦略を考える。	Nature, Science, Cellなどの国際科学誌の最新号に掲載された文献を毎週1報ずつ紹介する。発表はパワーポイントなどを使用し、論文に記載されている実験内容や結果を解説する形式で行う。なお、論文の選定から読解、発表まで教官がマンツーマンで指導する。期間中に2回の発表を予定している。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	薬理学教室 セミナー室	出席内容、発表内容を考慮して評価する。	
免疫学	由井 克之	論文から学ぶ免疫学	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根底にあるアイデアに対する理解を深め、問題解決能力を滋養する。「免疫学」の授業を履修した4年生を主な対象とするが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方などは適宜指導する。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	免疫学分野 集会室	発表内容、参加態度、レポート、出欠を総合的に評価	
感染分子	西田 教行 田口 謙	ケースレポートから学ぶ感染症	原著論文を読むことで、科学的批判力を養う	NEJMのCase reportから感染症の症例を選択的に取り上げ、丁寧に読解を行う。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	基礎棟8階 集会室	出席およびレポート	
公衆衛生	青柳 潔	論文から学ぶ公衆衛生学	文献を通して医学の社会性について学ぶ	公衆衛生学に関連した論文を各自が紹介・発表し、討論する。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	公衆衛生学 資料室	積極性、レポート	
第一内科	川上 純	臨床内科のエッセンス	Early Bird lesson(EBL)への参加を行ない、臨床の基本的な考え方を学ぶ。	当科では臨床実習生、初期研修医に対して行なわれるEarly Bird lesson(EBL)へ参加する。EBLは、鑑別診断・病態の説明や標準的治療の解説から、最新のトピックスまでの内容を含み、参加を通じて実際の臨床の考え方を学ぶ。	3年前期 4年前期	火曜日・水曜日 午前7時45分～ 8時30分	本館9階ゼミ 室(906号室)	出席やレポートによる総合評価	
消化器内科	竹島 史直	GUT CLUB	様々な腸疾患の臨床をより深く学習する。	入院、外来の症例検討を行うことで腸疾患に対する興味を喚起するとともに、それに関する最新の英文臨床研究やUp to Dateの抄読会を通じて理解を深める。	3年前期	金曜日16時30分	病院本館9階 チェアマン室	出席や発表内容より総合的に評価	
精神神経科	黒滝 直弘	パトグラフィーと司法精神 医学を究める	パトグラフィー(病跡学)とは、過去の偉人等を対象に精神医学・心理学等の視点からその生涯での疾病の意義を分析する。この手法は司法精神医学等にも応用される。本ゼミではこれを学ぶ。	パトグラフィーについて、まず基礎的な知識を学ぶ。その上で参加者一人(又はグループ)毎に、実際に特定の人物(過去だけでなく現代人や事件等も含め)を対象にして、パトグラフィーによる分析を実習する。映像作品等での視聴覚的な学習も随時実施する。	2年前期 3年前期 4年前期	月曜日又は水 曜日18時以降	精神科外来 62番診察室	①ゼミへの積極的な参加姿勢や自主性 ②講義終了後に提出してもらう課題の成果以上を総合的に判断する	参加希望者が10名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。
腫瘍外科 (第一外科)	日高 重和	内視鏡下手術入門～応用	20世紀後半から急速に進歩した内視鏡下手術は外科手術の概念を変え、現在でもその装置、手術手技は進歩し続けている。最先端の技術であってもその基本手技は以前の開腹手術と同様に非常に重要である。内視鏡下手術の原理、基本操作から応用をトレーニング装置で学びながら、内視鏡下手術への理解を深めてもらう。	内視鏡下手術の基礎としてドライボックス、VRシミュレータを用いて実際の操作手技を修練してみる。次第に高度なテクニックに移行する。その後、シミュレーターを用いた胆嚢摘出術、ロボット手術シミュレータに挑戦する。	3年前期 4年前期	水曜日5校時	腫瘍外科医 局	実践トレーニングが主なため出席が重視されます。レポート提出あり。	
移植・消化器外科 (第二外科)	江口 晋	Nagasaki Surgical Club 一外科の歴史から手術理論、手術手技、さらには国試対策まで	外科の入門編から実技さらには国試対策まで幅広く、週替りの講師陣による座談会形式のゼミです。外科実技や英会話も取り入れ、実践的な能力アップも図りたいと思います。	科の歴史まで) 2. 外科の基本手技(縫合、鏡視下手術実技などの実技を含みます) 3. 診察、学会発表に役立つ英会話 4. 外科におけるEBM(論文の見方、読み方教えます) 5. 消化管外科の温故知新:ピルロートって知ってる？ 6. 国試に出る外科学(2年生にも分かり易く解説します) 7. 移植についてともに語ろう 8. 乳腺外科のトピックス 9. 小児外科医が未来の子供に出来ること 10. 未来の外科学(ロボット手術、再生医療) 11. 先輩外科医から聞く深い話(座談会形式で熱く語り合しましょう)	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日 16:30～17:30	移植・消化器 外科医局(第 二カンファ 室):医局受付で問い合 わせてくださ い。	出席を重要視する。 ディスカッション内容。フリートーク形式ですので、レポート・試験などはありません。	* 講義内容、順番は予定であり若干の変更があり得ます。 * 学会などにより開催されない場合がありますので、開講日には注意ください。 * 欠席する場合は、医局まで連絡ください。 * 時間帯が合わない場合は、申し出て下さい。
泌尿器科	宮田 康好	マンガで学ぶ“泌尿器科ってなんだ？”	本ゼミを初步の泌尿器科学入門と位置づけ、マンガという身近な教材を用いて泌尿器科学の受け持つ領域と特徴を知り、さらに発展させて現代医学・医療の基本部分の理解へもつなげていく。	泌尿生殖器の解剖、機能および疾患の特徴などを直観的に捉えられるように、主にマンガを用いて、学生自身が司会進行する形で発表を行う。これに適宜教官からの補足を行う。また、その発表を通じて簡単なプレゼンテーションスキルやアイデア抽出法についても学ぶ。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	泌尿器科医 局	出席率、発表および討論への参加態度。	
眼科	Masafumi Uematsu、 Yasser Helmy Mohamed (上松聖典、ヤッセル ヘルミーモハメド)	Eye: visual sensory organ	To improve English skill and knowledge of eye diseases	Discussion about eye diseases by using audiovisual materials, etc.	2年前期 3年前期 4年前期	月曜日17:00- 18:30	眼科医局	出席、態度、レポートなどにより総合的に評価する	

教室	責任者名	ゼミテーマ(サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	開講時間	場所	評価方法	備考
産科婦人科	増崎 英明 (北島 道夫)	女性の健康について考える	産婦人科の最新の知見について、教室員とのディスカッションを通じて理解を深める	論文抄読、トピックセミナー、症例検討、講演会	2年前期 3年前期 4年前期	水曜日18:30～	病院11階産婦人科医局ゼミナール室	レポート提出	
臨床検査医学	柳原 克紀	分子診断	臨床検査の観点から分子診断を学ぶ	臨床検査の観点から、臨床微生物や腫瘍の分子診断に関する文献を読む。学生は提供された文献について学習し、発表する。	3年前期 4年前期	金曜日1校時 (隔週)	臨床検査医学医局(12階)	積極的な参加、文献の理解、発表を評価する。	
救命救急センター	田崎 修	救急医療を体験しよう	救急医療は拙速であってはならない。本ゼミにおいては、限られた時間の中で論理的に思考し、救急疾患の診断と治療を進める救急医療の醍醐味を体験する。	臓器や診療科の枠を超えて、「救急的」診療法を学ぶ。また、蘇生、診断、災害への対応、緊急の手技、集中治療等、救急医療で必要となる技術をシミュレーションで体験する。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	大学病院救命救急センターに集合	出席や授業態度で評価する。	
臨床感染症学・感染制御教育センター	泉川 公一	世界の感染症は制圧できるか？	Ebola出血熱や薬剤耐性微生物の脅威に対して人類はどのように対応しているかを学ぶ。生き物vs生き物の独特な医療においてヒトが勝者になれるか、その可能性を探る。	日本のみならず世界各地で発生している様々な感染症について、その診断、治療ならびに先端的な研究について学び、ヒトが微生物をどのように攻略していくのかそのプロセスを学び、臨床と基礎のbridgingとは何かを習得する。	2年前期 3年前期 4年前期	月曜日5校時	長崎大学病院	出席状況、発表などの総合評価	
地域医療学	前田 隆浩	地域医療学入門	地域医療の現状について、自ら調べ、現場のプロフェッショナルから話を聞き、地域医療を理解する。	・地域医療に関する論文(邦文・欧文)や記事、教科書、書籍を集めまとめる。 ・WS形式で知識を共有し理解を深める。 ・実際に地域医療の現場のプロフェッショナルに話を聞く。 ・現在の地域医療について把握し、地域医療の今後について考える。 ・月に一回程度行われる、地域医療の現場で働く人を招いて行う研究会に出席する。	1年前期 2年前期 3年前期 4年前期	・金曜日1校時(7回程度) ・月一回程度18時～20時30分(地域医療研究会・曜日不定)(4回程度) 上記2つ全てに出席が必要です。	地域医療学分野セミナー室(医学部基礎棟5階)ポンベ会館(予定)	出席とレポートとゼミ受講態度	
地域医療学	前田 隆浩	しまで学ぶ地域医療集中ゼミ	島嶼部における地域医療の現場を体験し、地域における保健・医療・福祉の役割と機能、そして地域包括ケアについての基礎を理解する。	坂本キャンパスで実施される地域医療研究会で地域医療への知識と理解を深める。そのうえで五島市で行われる集中合宿(2泊3日)に参加し、講義・ワークショップ・施設訪問など現場の地域医療を体験してより理解を深める。	1年前期 2年前期 3年前期	地域医療研究会(未定・2か月に1回開催予定)長崎地域医療セミナー in GOTO 8月19日(金)～8月21日(日)	地域医療研究会(坂本キャンパス)長崎地域医療セミナー in GOTO(長崎県五島市)	出席・発表・レポート	地域医療研究会および長崎地域医療セミナー in GOTOの両方への参加が必須です。地域枠入学生を主な対象としますが、地域医療に関心のある地域枠でない学生さんの受講も可です。 ※地域医療セミナー期間中の食費については5000円/人を予定しています。
探索病理(病理1)	下川 功林 洋子	楽しい病理学; 剖検例の検討	解剖症例を通して、主要な疾患の臨床所見、病態、および死因を考察する。	解剖症例の臨床的および病理組織学的検討。	2年前期 3年前期 4年前期	金曜日1校時	第一病理医局図書室	出欠、参加態度、発表を総合的に評価する。	
へき地病院再生支援・教育機構	調 漸 中桶 了太	離島・へき地医療の達人から学ぶ	へき地や離島医療の現状を学び、これからの地域医療や我が国のこれからの医療について考える	離島・へき地の第一線で活躍する多職種によるを双方向性の講義を中心とする。地域医療に密接に関係する家庭医や、病院総合医、プライドクターとして活躍する医師のほか行政や地域の保健師も講師として招き、「地域医療」という漠然としたイメージをリアルな物として認識する。ゼミの後半では平戸市民病院で夏合宿や、実際にへき地や離島医療を体験する離島ツアーも2泊3日程度で開催する予定である。地域枠学生に限らず、幅広い学生の参加を歓迎する。	1年前期 2年後期 3年前期 4年前期	金曜日18:00～19:30	医学部基礎棟 1階 視聴覚教室1	出席、講義のレポート、最終日に実施する地域医療に関するプレゼンテーション等で総合的に判定する。 1年次に関しては地域医療合宿での地域医療実習への出席を必須とする。	地域医療、へき地・離島医療に関心のある一般枠の学生の学生の受講も歓迎する。
先端体育センター	安武 亨	スポーツ医学概論	スポーツを通じて医学を学ぶ	運動生理学・スポーツ栄養学など	2年後期 3年前期	火曜日または木曜日16:30から	医学部セミナー室2など	授業参加状況、レポートなど	体育会系部活に所属する人、スポーツに興味がある人、グループ討議が出来る人を募ります。

Practical English Skills for Third Year Medical Students

Instructors: Luc Loosveldt
Jim Briganti

Class Time : to be decided

E-mail: lluc@nagasaki-u.ac.jp
jbrigantit@nagasaki-u.ac.jp

Office Hours: to be announced in class

Course Objectives	
This is a continuation of the second years' English courses, but with a special focus on the language of medical research. Students will support each other's learning in class and prepare short presentations to demonstrate their comprehension of the topics introduced in class.	
Required Textbooks	
Materials will be assigned and made available in class,	
Topics	
1	Introduction to the course
2	First group meeting: establishing group roles, deciding on first topic, deciding on topic focus, presentation proposal/rubric
3	First group discussion; first presentation proposal
4	The abstract + presentation script script
5	Short presentations + Q&A practice
6	Second topic; second group discussion
7	Second report; giving feedback on each other's report
8	The abstract + presentation script + presentation practice
9	Second Short Presentation followed by Q&A
10	Third topic; second group discussion
11	Third report; giving feedback on each other's reports
12	Third Short Presentation followed by Q&A - choosing the final topic
13	Final topic - synthesizing what we learned for the final poster session
14	Final report; review posters, review scripts, practice scripts
15	Final Poster sessions
Course work and Evaluation	
Students will be evaluated on the basis of classwork, assignments, vocabulary quizzes, group project, written work, and written research proposals. A detailed breakdown of the evaluation process will be provided in class.	
<i>*The above syllabus is meant as a general guide, not a definite time table.</i>	

